

府中市男女共同参画計画の推進について

中間報告書

府中市男女共同参画計画推進状況評価報告書

平成19年度・平成20年度実績 及び 平成21年度計画

第三者評価について

平成22年4月

府中市男女共同参画推進懇談会

第5期府中市男女共同参画推進懇談会（以下、「第5期推進懇談会」という。）は、府中市長から平成21年5月22日付で、次の事項について平成23年3月31日までに検討し、報告するよう求められました。

(1) 府中市男女共同参画計画の推進について

ア DV被害者支援のための取組について

イ 府中市男女共同参画計画推進状況評価報告書 第三者評価について

(2) 府中市女性センターの事業計画及び運営のあり方について

(3) その他男女共同参画のまちづくりに必要な事柄について

この内の「(1) 府中市男女共同参画計画の推進について」にある「イ 府中市男女共同参画計画推進状況評価報告書 第三者評価について」の平成19・20年度実績及び平成21年度計画について検討・協議し、報告書にまとめましたので、中間報告としてここに提出いたします。

『府中市男女共同参画推進状況評価報告書』（以下、「推進状況評価報告書」という。）に対する第三者評価は、第4期推進懇談会の任期中に市長から依頼を受け、実施することとなりました。現行の『第4次府中市男女共同参画計画』の事業の中から、男女共同参画推進のための重点項目として第三者評価が必要と認める事業項目について抽出し、評価しました。

この経緯を踏まえ、第5期推進懇談会は、このたびの推進状況評価報告書についての第三者評価の検討・協議にあたっては、事業担当課の評価欄（推進状況評価報告書の上段に記載されている。）を資料として評価するとともに、第4期推進懇談会が報告した第三者評価報告の項目評価及び総合評価の結果と、事業担当課の評価についての改善策等の提言が、平成20年度の事業に活かされて推進されたかどうかに関しても点検を行い、推進懇談会会議において、すべての重点項目についての評価を検討・協議しました。委員による評価についての発言内容は、第三者評価欄（推進状況評価報告書の下段に記載されている。）

の「改善策等の提言」に記載しています。これらの第三者評価の内容は、各事業について「総合評価の判定理由」と「改善策等の提言」に、できるかぎり明確に記載しています。これらの提言を各事業担当課におかれましては、次年度からの事業に取組み、改善すべき点は改善して、府中市における男女共同参画のまちづくりのための施策を推進・実施することを要望します。

平成22年4月23日

府中市長 野口忠直様

府中市男女共同参画推進懇談会

会長	小西厚子
副会長	諸橋泰樹
委員	後藤賢一
委員	日高津多子
委員	中里豊治
委員	四井秀成
委員	江田廣子
委員	藤田恵美
委員	青野まり
委員	明石光子
委員	井沢サト子
委員	中嶋正樹

あらゆる分野における男女共同参画

(1) 社会・地域における男女共同参画

① 政策・方針決定過程への女性の参画の拡大

事業項目	19年度の取組と実績 (a)	20年度の取組と実績 (a)
審議会等委員の男女構成比をそれぞれ30%以上に促進(001)	「附属機関等の委員の選任に関する基準」とおり、附属機関等の委員の選任に際しては、男女構成比がそれぞれ30%以上となるよう努めた。なお、19年度に設置されていた附属機関等の委員の男女構成比については、別表のとおり。	「附属機関等の委員の選任に関する基準」とおり、附属機関等の委員の選任に際しては、男女構成比がそれぞれ30%以上となるよう努めた。なお、20年度に設置されていた附属機関等の委員の男女構成比については、別表のとおり。

府中市男女共同参画推進懇談会による第三者評価（項目評価及び総合評価）

項目評価基準	評価	項目評価基準
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	2	5…達成されている 【100%】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	2	4…ほぼ達成されている 【80～99%】
(c) 課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか	3	3…概ね達成されている 【60～79%】
(d) 適切な数値目標が提示されているか	3	2…達成半ばである 【40～59%】
		1…不十分である 【～39%】

担当課評価基準

- 5…予定より大きな成果が出ている  
 4…予定よりやや大きな成果が出ている  
 3…予定した成果が出ている【基準=100%の達成率】  
 2…予定した成果があまり出していない  
 1…予定した成果が出ていない

担当課評価 (b)	評価の内容と今後の課題 (b)	21年度計画 (c)	数値目標 (d)	担当課
3	総合計画後期基本計画における目標値「40%」には届かなかったが、前年の値を下回ることなく、今後も男女構成比の均等化を進める必要がある。	「附属機関等の委員の選任に関する基準」に基づき、男女構成比の均等化を進める。	最終的な目標値は男女構成比率50%、それに向けて前年比率を常に上まる。	全庁政策課

総合評価	総合評価の判定理由	総合評価基準
C	20年度の取組として、附属機関等の委員の選任に際して男女構成比を30%以上となるよう努めたとしながら達成できなかったこと、また、なぜ達成できなかったのか説明がなされていないので、この評価にしました。	A…施策は非常に良好に進展している B…施策は良好に進展している C…現状維持 D…施策がやや後退している E…施策が後退している
改善策等の提言		
<p>この事業は、市における男女共同参画推進の指標になるものです。総合計画後期基本計画における目標値40%を達成するためには、全庁をあげて、附属機関等に積極的に女性委員を選任する努力が必要です。前年度の提言にもあるように、「附属機関等の委員の選任に関する基準」の見直しや、担当課による依頼方法の工夫により、女性委員の増加をはかることができると考えます。</p> <p>今後の課題として、総合計画後期基本計画に立てた目標値をなぜ達成できなかったのか理由の説明を記載してください。</p>		

I あらゆる分野における男女共同参画

(1) 社会・地域における男女共同参画

① 政策・方針決定過程への女性の参画の拡大

事業項目	19年度の取組と実績 (a)	20年度の取組と実績 (a)
すべての審議会等へ女性委員を登用するように促進 (002)	すべての附属機関等に男女両方の委員を登用するよう努め、全45機関のうち39機関で達成した。(86.7%)	すべての附属機関等に男女両方の委員を登用するよう努め、全48機関のうち43機関で達成した。(89.6%)

府中市男女共同参画推進懇談会による第三者評価（項目評価及び総合評価）

項目評価基準	評価	項目評価基準
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	5…達成されている 【100%】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	3	4…ほぼ達成されている 【80～99%】
(c) 課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか	3	3…概ね達成されている 【60～79%】
(d) 適切な数値目標が提示されているか	4	2…達成半ばである 【40～59%】
		1…不十分である 【～39%】

担当課評価基準

- 5…予定より大きな成果が出ている  
 4…予定よりやや大きな成果が出ている  
 3…予定した成果が出ている【基準=100%の達成率】  
 2…予定した成果があまり出ていない  
 1…予定した成果が出ていない

担当課評価 (b)	評価の内容と今後の課題 (b)	21年度計画 (c)	数値目標 (d)	担当課
3	特定の分野の附属機関等は女性委員を登用することができない状態ではあるが、今後も新規機関が増えていく中で、女性委員の登用を働きかけていく。	「附属機関等の委員の選任に関する基準」に基づき、男女構成比の均等化を進める。	当面の目標として、男女両方を含む附属機関等を90%以上とする。	全庁政策課

総合評価	総合評価の判定理由	総合評価基準
C	前年度より男女両方の委員を選任した附属機関等が増加したことは評価できますが、目標値90%以上に、わずかに及ばなかったことで、この評価にしました。	A…施策は非常に良好に進展している B…施策は良好に進展している C…現状維持 D…施策がやや後退している E…施策が後退している
改善策等の提言		
<p>全附属機関等への女性委員の登用を早期に実現する努力が必要と考えます。附属機関等の委員には、特定の資格所有者や専門的な知識が必要なことがあり、単純に女性委員を増やせない事情もあると思いますが、女性が少ない附属機関等においても、比較的女性の構成員が多い団体に選出を依頼する等、担当課の依頼方法を見直す等の工夫が必要です。</p> <p>今後、新規に構成される附属機関等に女性委員を積極的に選任して、目標値90%以上を達成することを要望します。</p>		

I あらゆる分野における男女共同参画

(1) 社会・地域における男女共同参画

② 女性の人材育成と活動支援

事業項目	19年度の取組と実績 (a)	20年度の取組と実績 (a)
市民の自主的学習活動の援助 (004)	女性センターの施設を登録団体に月3回まで無料で利用可能としていることで、市民の自主的な活動への支援に努めた。 19年度登録団体数 152 団体	女性センターの施設を登録団体に無料で利用可能としている (20 年度登録団体数 136 団体)。 第 22 回男女共同参画推進フォーラムを開催し、333 人の参加があった。 男女共同参画市民企画講座事業において、6 企画の応募があり、3 企画を実施した。 子育て世代の市民が主催講座に参加しやすいように、託児事業を継続し、実施した。

府中市男女共同参画推進懇談会による第三者評価 (項目評価及び総合評価)

項目評価基準	評価	項目評価基準
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	5…達成されている 【100%】 4…ほぼ達成されている 【80~99%】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【60~79%】 2…達成半ばである 【40~59%】
(c) 課題に即した改善策 (次年度計画) が立てられているか	3	1…不十分である 【~39%】
(d) 適切な数値目標が提示されているか	3	

担当課評価基準

- 5…予定より大きな成果が出ている  
4…予定よりやや大きな成果が出ている  
3…予定した成果が出ている【基準=100%の達成率】  
2…予定した成果があまり出ていない  
1…予定した成果が出ていない

担当課評価 (b)	評価の内容と今後の課題 (b)	21年度計画 (c)	数値目標 (d)	担当課
3	登録団体数は減少しているものの、女性センターへの団体登録として妥当な登録を精査できたと捉えている。今後も女性センターの趣旨に則した団体の登録とそれに向けた支援に取り組む。	女性センター登録団体が、女性問題について関心を持つという、登録団体の趣旨に沿った形で自主活動を行えるよう、支援に取り組む。 また、実施する事業において、様々な世代の方が参加しやすいよう配慮する。	女性センターは、女性問題に関わる団体の活動拠点である。よって、単に登録団体数を増やすことを目的とせず、女性問題に関わる団体の増加に努めたい。 また、今後は思うように学習時間が取れない等、ゆとりがない方への支援を検討する。	市民活動支援課

総合評価	総合評価の判定理由	総合評価基準
C	20 年度の取組に前年度の提言を取り入れてこの事業内容を記載していること、子育て世代の市民の主催講座参加に託児事業を実施していることは評価できますが、女性センターの登録団体の減少が多少問題であるとして、この評価にしました。	A…施策は非常に良好に進展している B…施策は良好に進展している C…現状維持 D…施策がやや後退している E…施策が後退している
改善策等の提言		
<p>女性センターの大きな役割は、男女共同参画推進の拠点として市民、特に女性市民の地位向上に資する支援を担うことであり、この事業は重要です。</p> <p>数値目標において、「単に登録団体数を増やすことを目的とせず、女性問題に関わる団体の増加に努めたい」とありますが、これは、女性問題に関わる団体以外の団体が登録していると推察します。女性センターは、女性の地位向上と男女共同参画の推進に関わる登録団体の自主的学習活動を援助する拠点として位置づけられていますので、既存の団体を含め、どのような団体を登録団体とするかの基準を確認し、改めて、女性センターと文化センター等の違いを市民に周知することを提言します。</p>		

I あらゆる分野における男女共同参画

(1) 社会・地域における男女共同参画

③ 地域活動における男女共同参画の推進

事業項目	19年度の取組と実績 (a)	20年度の取組と実績 (a)
コミュニティ活動等への参加促進 (010)	文化センター圏域コミュニティ協議会委託事業を通して、地域の各種団体等の方々と年代を超えた交流とふれあいの場を広げ、コミュニティ活動を積極的に展開した。 実施回数 4,757 回、延べ参加者数 350,843 人	文化センター圏域コミュニティ協議会委託事業を通して、地域の各種団体等の方々と年代を超えた交流とふれあいの場を広げ、コミュニティ活動を積極的に展開した。 実施回数 4,968 回、延べ参加者数 351,109 人

府中市男女共同参画推進懇談会による第三者評価（項目評価及び総合評価）

項目評価基準	評価	項目評価基準
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	5…達成されている 【100%】 4…ほぼ達成されている 【80～99%】 3…概ね達成されている 【60～79%】 2…達成半ばである 【40～59%】 1…不十分である 【～39%】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	4	
(c) 課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか	2	
(d) 適切な数値目標が提示されているか	3	

担当課評価基準

- 5…予定より大きな成果が出ている  
4…予定よりやや大きな成果が出ている  
3…予定した成果が出ている【基準=100%の達成率】  
2…予定した成果があまり出していない  
1…予定した成果が出ていない

担当課評価 (b)	評価の内容と今後の課題 (b)	21年度計画 (c)	数値目標 (d)	担当課
3	参加者数は天候に左右される面があるが、すべての文化センター圏域で地域の特色を踏まえた数多くの事業を実施し、性別を問わず幅広い世代で多数の参加者を得た。	文化センター圏域コミュニティ協議会委託事業を通して、地域の各種団体等の方々と年代を超えた交流とふれあいの場を広げ、コミュニティ活動を積極的に展開する。	事業実施回数 5,000 回 参加者数 355,000 人	市民活動支援課

総合評価	総合評価の判定理由	総合評価基準
C	現段階での文化センター圏域コミュニティ協議会委託事業として、20年度の実施回数、延べ参加者数から、現状維持ができていると考え、この評価にしました。	A…施策は非常に良好に進展している B…施策は良好に進展している C…現状維持 D…施策がやや後退している E…施策が後退している
改善策等の提言		
<p>市における文化センター圏域コミュニティ協議会及びコミュニティ活動は、男女市民の参加・参画の活動の場でもあり、地域活動における男女共同参画の推進は、市の男女共同参画の進展につながると考えます。</p> <p>コミュニティ活動については、「地域の各種団体等の方々と年代を超えた交流とふれあいの場」という説明では、女性市民の参加状況は把握できませんが、コミュニティ協議会における女性の参画及び地域の各種団体における女性の参画について把握できると、地域活動における男女共同参画の推進状況が判明できると考えます。</p>		

I あらゆる分野における男女共同参画

(1) 社会・地域における男女共同参画

④ 安全・防災対策の推進

事業項目	19年度の取組と実績 (a)	20年度の取組と実績 (a)
地域安全リーダーの育成 (018)	地域での防犯活動の核となる、地域安全リーダー講習会を2回開催した。 6月9日(土) 受講生17名 (女性2名、男性15名) 11月10日(土) 受講生18名 (女性3名、男性15名)	過去に実施した地域安全リーダー講習会の修了者を一同に集め、「地域安全リーダーのつどい」を開催し地域防犯の勉強会を実施した。 10月11日(土)参加者71名 (女性7名、男性64名)

府中市男女共同参画推進懇談会による第三者評価(項目評価及び総合評価)

項目評価基準	評価	項目評価基準
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	5…達成されている 【100%】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	4	4…ほぼ達成されている 【80~99%】
(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	3…概ね達成されている 【60~79%】
(d) 適切な数値目標が提示されているか	3	2…達成半ばである 【40~59%】
		1…不十分である 【~39%】

担当課評価基準

- 5…予定より大きな成果が出ている  
4…予定よりやや大きな成果が出ている  
3…予定した成果が出ている【基準=100%の達成率】  
2…予定した成果があまり出ていない  
1…予定した成果が出ていない

担当課 評価 (b)	評価の内容と今後の課題 (b)	21年度計画(c)	数値目標(d)	担当課
3	今回は修了者を対象とした講習会であることから、女性の参加者が少ないのはやむを得ない。今後、新規で実施する際は、青少対やPTAへの参加の呼びかけを幅広く行っていきたい。	年2回地域安全リーダー講習会を実施予定	今後、女性の参加者数が全受講生の25%となることを目標とする。	地域安全対策課

総合評価	総合評価の判定理由	総合評価基準
B	20年度の事業が、過去に実施した地域安全リーダー講習会の修了者を対象にした講習会だったということで、女性の参加者が少ないのはやむを得ないと説明していますが、女性の参加者を積極的に勧誘した結果なのか、もともと講習会を終了した女性参加者が少ないのか不明です。そこで、この評価にしました。	A…施策は非常に良好に進展している B…施策は良好に進展している C…現状維持 D…施策がやや後退している E…施策が後退している
改善策等の提言		
安全・防災対策の推進には、地域安全リーダーの育成、特に女性リーダーの育成は重要であると考えます。地域安全リーダー講習会への女性受講者増加を図るための具体的方策を検討し、この事業を推進することを要望します。しかし、この事業により育成された地域安全リーダーの総数が何人で、男女別では各何人になっているか、どのような人がリーダー講習会を受講しているのかも不明ですが、現在まで育成されたリーダーの人数で市の地域安全は充分対応できるとは言えないでしょう。この事業については、地域安全リーダー育成講習会でなされた情報を一般市民にも伝達して共有することにより、安全・防災対策に対する市民の意識と知識が向上して、いざという時に対応できると考えます。こうした方策の具体的な検討を望みます。		



I あらゆる分野における男女共同参画  
 (1) 社会・地域における男女共同参画  
 ④ 安全・防災対策の推進

事業項目	19年度の取組と実績 (a)	20年度の取組と実績 (a)
男女双方の視点を取り入れた防災対策の推進 (019)	無し	総合防災訓練において、男女双方の住民の参加を得て、避難所運営訓練を実施し、避難所のあり方を考えた。

府中市男女共同参画推進懇談会による第三者評価（項目評価及び総合評価）

項目評価基準	評価	項目評価基準
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	5…達成されている 【100%】 4…ほぼ達成されている 【80～99%】 3…概ね達成されている 【60～79%】 2…達成半ばである 【40～59%】 1…不十分である 【～39%】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	3	
(c) 課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか	3	
(d) 適切な数値目標が提示されているか	3	

担当課評価基準  
 5…予定より大きな成果が出ている  
 4…予定よりやや大きな成果が出ている  
 3…予定した成果が出ている【基準=100%の達成率】  
 2…予定した成果があまり出ていない  
 1…予定した成果が出ていない

担当課評価 (b)	評価の内容と今後の課題 (b)	21年度計画 (c)	数値目標 (d)	担当課
3	総合防災訓練において、初めて住民参加による避難所運営を実施した。今後、市民と共に男女双方の視点から災害対策を考え、防災マニュアル等に反映する。	総合防災訓練において、住民が主体となる避難所運営訓練を実施するにあたり、男女双方の視点から、避難所のあり方や防災資機材の備蓄計画を立てる。	総合防災訓練 1回	防災課

総合評価	総合評価の判定理由	総合評価基準
C	20年度から始めた事業であるが、総合防災訓練において男女市民の参加を得て避難所運営訓練を実施したことは評価できますが、男女市民の参加者数や訓練の内容が不明のため、この訓練の成果が把握できないので、この評価にしました。	A…施策は非常に良好に進展している B…施策は良好に進展している C…現状維持 D…施策がやや後退している E…施策が後退している
改善策等の提言		
<p>災害が起きて初めて、事前に準備をしておけばよかったと後悔する市民が多い中、どのようにしたら、市民が自主的に防災に備えられるか等の対策を立てる必要があります。</p> <p>具体的には、防災訓練等で火事・地震等の体験学習をすること、市民自身が必要な防災備蓄品等を準備しておくこと等、市民から自主的に防災対策を講じるようにする事が大切と思われます。</p> <p>そのためには、男女双方の視点を取り入れた防災対策について、市民への広報活動を行うことを提案します。また、担当課の今後の課題に記載しているように、男女双方の視点からの防災・災害対策を盛り込んだ防災マニュアルを作成してください。</p> <p>防災対策における男女共同参画の推進には、府中市防災会議に女性委員を選任することを要望します。</p>		

I あらゆる分野における男女共同参画

(1) 社会・地域における男女共同参画

⑤ 市職員の男女共同参画の推進

事業項目	19年度の実績と取組 (a)	20年度の実績と取組 (a)
女性職員の参画意識の向上 (021)	若年時から責任のある仕事を担当させることにより、政策・方針決定の場への女性職員の参画を推進した。また、女性職員の昇任試験受験率が向上するよう、所属長からも積極的に受験の奨励に努めた。	若年時から責任のある仕事を担当させることにより、政策・方針決定の場への女性職員の参画を推進した。また、女性職員の昇任試験受験率が向上するよう、所属長からも積極的に受験の奨励に努めた。

府中市男女共同参画推進懇談会による第三者評価 (項目評価及び総合評価)

項目評価基準	評価	項目評価基準
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	5…達成されている 【100%】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	2	4…ほぼ達成されている 【80~99%】
(c) 課題に即した改善策 (次年度計画) が立てられているか	2	3…概ね達成されている 【60~79%】
(d) 適切な数値目標が提示されているか	1	2…達成半ばである 【40~59%】
		1…不十分である 【~39%】

担当課評価基準

- 5…予定より大きな成果が出ている  
 4…予定よりやや大きな成果が出ている  
 3…予定した成果が出ている【基準=100%の達成率】  
 2…予定した成果があまり出していない  
 1…予定した成果が出ていない

担当課評価 (b)	評価の内容と今後の課題 (b)	21年度計画 (c)	数値目標 (d)	担当課
3	女性職員に若年時から責任のある仕事を担当させ、政策・方針決定の場への参画の推進により、昇任の意識づけを図った。今後も引き続き取り組んでいきたい。	政策・方針決定の場への女性の参画を推進するため、女性職員に対する昇任試験受験奨励を継続する。	女性職員の昇任試験受験が参画意識の推進となるよう、受験率向上を目指したいが、年度によって受験対象者数も変動するため、数値での目標提示はできない。	全庁市民活動支援課職員課

総合評価	総合評価の判定理由	総合評価基準
D	事業の取組が前年度と同様で、「政策・方針決定の場への女性の参画を推進」及び「女性職員に対する昇任試験受験奨励」とありますが、推進、奨励した結果、女性職員の昇任試験受験者が増加したのか、昇任した女性職員の実数も記載されていないので、この評価にしました。	A…施策は非常に良好に進展している B…施策は良好に進展している C…現状維持 D…施策がやや後退している E…施策が後退している
改善策等の提言		
<p>市における男女共同参画施策の推進は、全職員が担うものです。そのためには、全職員における男女共同参画を促進する必要があります。その一つの目標が、管理職に占める女性職員の構成比を上げることであると考えます。</p> <p>この事業については、前年度に提言された男女職員の昇任試験について、受験者数・合格者数等の具体的な数字を記載してください。</p> <p>また、数値目標については、管理職に占める男女比の現状から割り出した目標を数値化する、また、前年度に提言されているように、東京都や他市の管理職に占める女性職員の割合を目標にして数値化することを提案します。</p>		

I あらゆる分野における男女共同参画

(2) 働く場における男女共同参画

① 就業のための支援

事業項目	19年度の取組と実績 (a)	20年度の取組と実績 (a)
女性の就職支援講座の実施 (023)	「書くコトを仕事にしたい女性」のためのライター養成セミナーを実施した。 女性の自立を支援するために、単に文書能力の向上のためだけではなく、就労につながるための技術を身につけることを目的とした。講座終了後、受講者同士で登録団体を発足させ、活動を行っている。	引き続き、「書くコトを仕事にしたい女性」のためのライター養成セミナーを実施し、女性の自立を支援するために、単に文書能力の向上のためだけではなく、就労につながるための技術を身につけることを目的とした。 また、東京しごとセンター多摩と共催し、再就職支援セミナー「1日でわかる再就職のポイント」を実施する等、講座の充実に努めた。

府中市男女共同参画推進懇談会による第三者評価（項目評価及び総合評価）

項目評価基準	評価
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	4
(c) 課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか	4
(d) 適切な数値目標が提示されているか	3

項目評価基準	評価
5…達成されている	【100%】
4…ほぼ達成されている	【80～99%】
3…概ね達成されている	【60～79%】
2…達成半ばである	【40～59%】
1…不十分である	【～39%】

担当課評価基準

5…予定より大きな成果が出ている	4…予定よりやや大きな成果が出ている
3…予定した成果が出ている【基準=100%の達成率】	1…予定した成果が出ていない
2…予定した成果があまり出ていない	

担当課評価 (b)	評価の内容と今後の課題 (b)	21年度計画 (c)	数値目標 (d)	担当課
4	女性を対象とした再就職支援講座において、ライターを養成する講座は少なく、先進的な取組であったことを評価し、4とした。	再就職を支援する講座において、従来のパソコン技術を修得することを目的とする講座だけではなく、幅広い職種に対応できる内容の講座を実施する。	受講者の追跡調査を行い、その結果を基に適切な目標を設置したい。	市民活動支援課

総合評価	総合評価の判定理由
B	女性の再就職のための講座として、市民から要望の多い「ライター養成セミナー」を選択して実施したこと、また、東京都等と共催で再就職セミナーを行ったことは、雇用情勢の厳しさに適宜的確に対応したものと効果的であったため、この評価にしました。
改善策等の提言	
今後もできる限り講座の実施回数を増やしたり、就職に合致するように講座内容の幅を広げたりして、一層市民の要望に沿った就職支援策を期待します。 また、受講者数等、可能な限り数値を記載することで、今後の課題が見えやすくなると考えます。	

総合評価基準
A…施策は非常に良好に進展している
B…施策は良好に進展している
C…現状維持
D…施策がやや後退している
E…施策が後退している

I あらゆる分野における男女共同参画

(2) 働く場における男女共同参画

② 労働環境の整備

事業項目	19年度の取組と実績 (a)	20年度の取組と実績 (a)
長時間労働是正の啓発 (029)	法に定める労働時間の最低基準を実現するためのパンフレット等を配布し、啓発に努めた。	法に定める労働時間・時間外労働の最低基準を実現するための労働ガイドブックを3,000部作成し、中小企業勤労者サービス公社に加入している事業所(1,345部)、市政情報センター(250部)、各文化センター(550部)、女性センター(150部)、市民相談室(250部)、住宅勤労課(455部)で配布し、啓発に努めた。 また、東京都の労働行政機関等と連携し、長時間関連の点検を中心に、「労働安全衛生法・労働時間の設定改善に関する特別措置法等」の労働者・労働組合・事業主・人事労務担当・関心のある一般都民を対象にセミナーを府中グリーンプラザで実施し、申込者102人中、72人の参加があった。

府中市男女共同参画推進懇談会による第三者評価(項目評価及び総合評価)

項目評価基準	評価
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	4
(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	4
(d) 適切な数値目標が提示されているか	4

項目評価基準	評価
5…達成されている	【100%】
4…ほぼ達成されている	【80~99%】
3…概ね達成されている	【60~79%】
2…達成半ばである	【40~59%】
1…不十分である	【~39%】

担当課評価基準

- 5…予定より大きな成果が出ている  
 4…予定よりやや大きな成果が出ている  
 3…予定した成果が出ている【基準=100%の達成率】  
 2…予定した成果があまり出していない  
 1…予定した成果が出していない

担当課評価 (b)	評価の内容と今後の課題 (b)	21年度計画 (c)	数値目標 (d)	担当課
3	慢性的な長時間労働は継続就労を困難にする大きな要因であるため、労働時間短縮について引き続き啓発していく。 アンケートからセミナーの評価は、「大変参考になった」が34%で、「参考になった」が55%であった。合すると89%で、9割近い受講者から良い評価があった。一方、「少し参考になった」が11%、「参考にならなかった」と回答した人はいなかった。 講師に関して、「わかりやすい」と好評であった。	引き続き、法に定める労働時間の最低基準を実現するための労働ガイドブックを3,000部作成し、中小企業勤労者サービス公社に加入している事業所(1,345部)、市政情報センター(250部)、各文化センター(550部)、女性センター(150部)、市民相談室(250部)、住宅勤労課(455部)で配布し、長時間労働是正の啓発に努める。 東京都の労働行政機関等と連携し、労働者・一般都民向けセミナーの実施を行う。	労働ガイドブックを3,000部作成し、中小企業勤労者サービス公社をはじめ、各公共施設等で配布し、啓発を進めていく。 労働者等を対象のセミナーを関係機関と連携し実施する。 参加者の増に努める。	住宅勤労課

総合評価	総合評価の判定理由
B	長時間労働の適正化の重要性について、労働ガイドブックを作成し、市内各施設を利用し効率的にPRし、市民に普及啓発したこと、また、セミナーを通し、多くの労働者、市内事業主等に労働時間の改善を具体的に周知したことから、この評価としました。
改善策等の提言	
仕事と家庭生活の両立のためには、長時間労働の改善が必要不可欠です。現下の経済労働環境が大変厳しい時期ですが、市内の企業・事業所や商工会議所、労働組合等の理解と協力を得て、残業の少ない業務運営の工夫例、実践例等を取り上げて紹介し、長時間労働改善のモデルリーディングケースづくりに取り組まれるよう期待します。	

総合評価基準
A…施策は非常に良好に進展している
B…施策は良好に進展している
C…現状維持
D…施策がやや後退している
E…施策が後退している

I あらゆる分野における男女共同参画

(3) 家庭との両立支援

① 子育て支援の充実

事業項目	19年度の取組と実績 (a)	20年度の取組と実績 (a)
一時保育の拡充 (032)	<p>出産・病気・断続的な就労により、子どもの養育が一時的に困難な家庭に対して、子どもを預かり、多様な保育ニーズに応えた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私立保育園…10 か所</li> <li>・公立保育所…1 か所</li> <li>・利用人数…16,182 人</li> </ul>	<p>育児疲れや出産・病気、そして断続的な就労により、子どもの養育が一時的に困難な家庭に対して、子どもを預かり、多様な保育ニーズに応えた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私立保育園…10 か所</li> <li>・公立保育所…1 か所</li> <li>・利用人数…17,035 人</li> </ul>

府中市男女共同参画推進懇談会による第三者評価（項目評価及び総合評価）

項目評価基準	評価	項目評価基準
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	5…達成されている 【100%】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	3	4…ほぼ達成されている 【80～99%】
(c) 課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか	2	3…概ね達成されている 【60～79%】
(d) 適切な数値目標が提示されているか	3	2…達成半ばである 【40～59%】
		1…不十分である 【～39%】

担当課評価基準

- 5…予定より大きな成果が出ている  
 4…予定よりやや大きな成果が出ている  
 3…予定した成果が出ている【基準=100%の達成率】  
 2…予定した成果があまり出していない  
 1…予定した成果が出していない

担当課評価 (b)	評価の内容と今後の課題 (b)	21年度計画 (c)	数値目標 (d)	担当課
3	19年度と同じ11か所で実施されているが、利用人数が前年度より853人増となった。	一時保育の利用者数が増えているが、平成21年度より一時預かり事業を実施するためには第二種社会福祉事業の登録が必要となったことから、実施園の状況を見守る。	一時保育実施か所数 ・私立保育園…12か所 ・公立保育所…1か所	子育て支援課

総合評価	総合評価の判定理由	総合評価基準
C	一時保育の保育施設が前年度と同数であるにもかかわらず利用人数が増加していること、また、多様な一時保育のニーズに対応していることで、この評価にしました。	A…施策は非常に良好に進展している B…施策は良好に進展している C…現状維持 D…施策がやや後退している E…施策が後退している
改善策等の提言		
21年度より一時保育の施設に第二種社会福祉事業の登録が必要となったということで、実施園の状況を見守るということですが、一時保育の利用希望者に十分対応できるようにこの事業を進めることを要望します。 多様な保育ニーズに応えるためにも、利用した保護者に利用の満足度や要望をアンケート調査することを提案します。		

I あらゆる分野における男女共同参画

(3) 家庭との両立支援

① 子育て支援の充実

事業項目	19年度の取組と実績 (a)	20年度の取組と実績 (a)
低年齢児保育の充実 (036)	認可保育所入所定員 (4月1日現在運用定員) 0歳 290人 1歳 485人 2歳 607人  待機児童数(4月1日現在) 132人	認可保育所入所定員 (4月1日現在運用定員) 0歳 303人 1歳 514人 2歳 618人  待機児童数(4月1日現在) 167人

府中市男女共同参画推進懇談会による第三者評価(項目評価及び総合評価)

項目評価基準	評価	項目評価基準
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	2	5…達成されている 【100%】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	3	4…ほぼ達成されている 【80~99%】
(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	3…概ね達成されている 【60~79%】
(d) 適切な数値目標が提示されているか	3	2…達成半ばである 【40~59%】
		1…不十分である 【~39%】

担当課評価基準

- 5…予定より大きな成果が出ている  
4…予定よりやや大きな成果が出ている  
3…予定した成果が出ている【基準=100%の達成率】  
2…予定した成果があまり出していない  
1…予定した成果が出ていない

担当課評価 (b)	評価の内容と今後の課題 (b)	21年度計画 (c)	数値目標 (d)	担当課
2	保育所への入所希望者が増加する中、特に低年齢児の待機児童が生じている。 平成21年度は都内全域で待機児童が増加し、本市においても4月1日現在の待機児童数は273人となった。	認可保育所入所定員 (4月1日現在運用定員) 0歳 309人 1歳 526人 2歳 632人  さらに 12月に市立三本木保育所 41人(内低年齢19人)定員増 年度内に私立園2園開設、 私立分園1園開設	認可保育所入所定員 0歳 335人 1歳 557人 2歳 692人 定員増に努めていく。	保 育 課

総合評価	総合評価の判定理由	総合評価基準
C	20年度においては、待機児童の増加数に対して定員数も増やして、この事業を進めているので、この評価にしました。	A…施策は非常に良好に進展している B…施策は良好に進展している C…現状維持 D…施策がやや後退している E…施策が後退している
改善策等の提言		
今後、低年齢児の待機児童の急増が見込まれる状況にあるとのことで、認可保育所の定員数を増加する等の計画があり、担当課の努力を期待します。		

I あらゆる分野における男女共同参画

(3) 家庭との両立支援

① 子育て支援の充実

事業項目	19年度の取組と実績 (a)	20年度の取組と実績 (a)
学童クラブの充実 (039)	<p>学童クラブへの入会を希望する児童がすべて入会することができるよう、既存の施設の他に小学校の空き教室を確保し、運営の充実を図った。</p> <p>入会児童数 1,719人 (4月1日現在)</p> <p>子どもたちの安全で安心な居場所づくりのため、「放課後子ども教室」を二小、五小、十小の3校で試行的に実施した。</p> <p>開催日数 延べ729日 総参加者数 26,800人</p>	<p>学童クラブへの入会を希望する児童がすべて入会することができるよう、既存の施設の他に小学校の空き教室を確保し、運営の充実を図った。</p> <p>入会児童数 1,784人 (4月1日現在)</p> <p>「放課後子ども教室」を市立小学校22校全校で実施した。</p> <p>開催日数 延べ4,946日 総参加者数 115,156人</p>

府中市男女共同参画推進懇談会による第三者評価 (項目評価及び総合評価)

項目評価基準	評価	項目評価基準
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	5…達成されている 【100%】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	4	4…ほぼ達成されている 【80~99%】
(c) 課題に即した改善策 (次年度計画) が立てられているか	4	3…概ね達成されている 【60~79%】
(d) 適切な数値目標が提示されているか	4	2…達成半ばである 【40~59%】
		1…不十分である 【~39%】

担当課評価基準

5…予定より大きな成果が出ている

4…予定よりやや大きな成果が出ている

3…予定した成果が出ている【基準=100%の達成率】

2…予定した成果があまり出していない

1…予定した成果が出していない

担当課評価 (b)	評価の内容と今後の課題 (b)	21年度計画 (c)	数値目標 (d)	担当課
4	学童クラブへ入会を希望する児童がすべて入会することができた。放課後児童の健全育成の観点からも、引き続き入会を希望する児童が全員入会できるよう、あらゆる施策を検討していく。	学童クラブに入会を希望する児童が全員入会できるよう、事業の推進を図っていく。	学童クラブへの入会を希望する児童の全員入会。	児童青少年課

総合評価	総合評価の判定理由	総合評価基準
B	学童クラブ及び放課後子ども教室は、希望者全員の入会が達成されていること、また、入会を希望する児童が全員入会できる施策の推進を期待して、この評価にしました。	A…施策は非常に良好に進展している
	改善策等の提言	B…施策は良好に進展している
	少子化が進行する中、府中市においては児童数の減少は見られず、マンション化や宅地化が進んで市の人口 (世帯数) は増加傾向にあります。この事業については、引き続き、希望児童全員の入会を維持するとともに、施設の改善等、質の向上を図ることを提言します。	C…現状維持
		D…施策がやや後退している
		E…施策が後退している

I あらゆる分野における男女共同参画

(3) 家庭との両立支援

③ 高齢者・障害者・介護者支援等の充実

事業項目	19年度の取組と実績 (a)	20年度の取組と実績 (a)
介護保険制度と福祉サービスの充実 (046)	<p>① 介護保険制度を市民に周知するために、出張説明会を実施し、情報提供に努めた。説明会 9回、出席者 206人 (女性110人、男性96人)</p> <p>② ねたきり高齢者理髪事業や高齢者車いす福祉タクシー、寝具乾燥サービスを実施し、女性が働き続けることのできるよう負担を軽減した。ねたきり 2,024件、車いす 2,946件、寝具乾燥 779件</p> <p>③ 7か所ある在宅サービスセンターで通所介護、認知症通所介護、いきがいデイサービス、ショートステイ、福祉ショートステイ、入浴サービス、通所食事サービス、訪問食事サービス、地域デイサービスを実施し、女性が働き続ける環境づくりの充実を図った。</p>	<p>① 介護保険制度を市民に周知するために、出張説明会を実施し、情報提供に努めた。説明会 10回、出席者 336人</p> <p>② ねたきり高齢者理髪事業や高齢者車いす福祉タクシー、寝具乾燥サービスを実施し、女性が働き続けることのできるよう負担を軽減した。ねたきり 2,133件、車いす 3,635件、寝具乾燥 891件</p> <p>③ 7か所ある在宅サービスセンターで通所介護、認知症通所介護、いきがいデイサービス、ショートステイ、福祉ショートステイ、入浴サービス、通所食事サービス、訪問食事サービス、地域デイサービスを実施し、女性が働き続ける環境づくりの充実を図った。</p>

府中市男女共同参画推進懇談会による第三者評価 (項目評価及び総合評価)

項目評価基準	評価	項目評価基準
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	5…達成されている 【100%】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	4	4…ほぼ達成されている 【80~99%】
(c) 課題に即した改善策 (次年度計画) が立てられているか	4	3…概ね達成されている 【60~79%】
(d) 適切な数値目標が提示されているか	3	2…達成半ばである 【40~59%】
		1…不十分である 【~39%】

担当課評価基準

- 5…予定より大きな成果が出ている  
 4…予定よりやや大きな成果が出ている  
 3…予定した成果が出ている【基準=100%の達成率】  
 2…予定した成果があまり出ていない  
 1…予定した成果が出ていない

担当課評価 (b)	評価の内容と今後の課題 (b)	21年度計画 (c)	数値目標 (d)	担当課
3	<p>① 家庭での女性の介護負担が軽減できる介護保険制度を周知する機会が設けられた。</p> <p>② 3事業とも高齢者の増加に伴い、利用者は概ね年々増加基調にあるため3とした。</p> <p>③ 左記のとおり高齢者在宅サービスセンターで行った実績を記載しているが、すでに介護保険サービスは他の事業者においても実施していることもあり介護保険制度の普及、充実といった面での指標としてはふさわしくない。</p>	<p>① 自治会や各種団体からの要望に応じ、適宜、説明会を開催する。</p> <p>② 在宅で生活するねたきり高齢者を、介護者を含めて支援していくための事業として、引き続き取り組んでいく。</p> <p>③ 介護保険制度の充実度を全市的に把握できるような指標の導入を検討する。</p>	<p>① 介護保険事業計画 (3ヵ年) の直近中間年度=平成19年度の実績を目標とする。</p> <p>② 在宅で生活する高齢者は今後も増加することが想定されるため、当該サービスについても5%程度の増加を見込んでいく。</p>	高齢者支援課

総合評価	総合評価の判定理由	総合評価基準
B	<p>介護保険制度を市民に周知する説明会の実施、利用者の増加傾向にある高齢者・障害者・介護者等に対する在宅サービスセンター7か所における支援の取組を積極的に実施しているので、この評価にしました。</p>	<p>A…施策は非常に良好に進展している</p> <p>B…施策は良好に進展している</p> <p>C…現状維持</p> <p>D…施策がやや後退している</p> <p>E…施策が後退している</p>
改善策等の提言		
<p>高齢化が益々進展しており、今後、老老介護世帯の増加も見込まれ、対象者への福祉サービスのさらなる充実が求められます。</p> <p>各家庭における介護者の多くが女性であることを考えると、女性の社会参加の妨げにならないように配慮した、積極的な事業展開を推進することを要望します。</p> <p>各年度の取組と実績の記載について、③は前年度のように事業名と利用者人数を表にしてください。</p>		



## II 女性の人権の尊重と健康支援

### (1) 女性に対するあらゆる暴力の根絶

#### ① 家庭内暴力等の根絶に向けた取組の推進

事業項目	19年度の取組と実績 (a)	20年度の取組と実績 (a)
暴力を防ぐための意識啓発 (058)	DV防止法を踏まえて、DV対策連携会議を実施し、緊急時の連携をスムーズに実施できるように意思統一を図った。 また、11月の「女性に対する暴力をなくす運動」に合わせて講座を開催し、DVは犯罪であるという認識を深めた。	DV対策連携会議を実施し、緊急時の連携をスムーズに実施できるように意思統一、情報の共有を図った。 また、11月の「女性に対する暴力をなくす運動」に合わせて講座を開催し、女性の自己防衛術として、リアライズ代表の橋本明子氏によるWEN-DOに関する講座を実施した。

#### 府中市男女共同参画推進懇談会による第三者評価（項目評価及び総合評価）

項目評価基準	評価	項目評価基準
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	5…達成されている 【100%】 4…ほぼ達成されている 【80～99%】 3…概ね達成されている 【60～79%】 2…達成半ばである 【40～59%】 1…不十分である 【～39%】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	2	
(c) 課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか	2	
(d) 適切な数値目標が提示されているか	2	

#### 担当課評価基準

- 5…予定より大きな成果が出ている  
4…予定よりやや大きな成果が出ている  
3…予定した成果が出ている【基準=100%の達成率】  
2…予定した成果があまり出ていない  
1…予定した成果が出ていない

担当課評価 (b)	評価の内容と今後の課題 (b)	21年度計画 (c)	数値目標 (d)	担当課
3	女性に対する暴力を防ぐために様々な角度から講座を開催することで、DVに対する問題意識を共有し、啓発活動に努めた。	DVは犯罪であり、根絶のためには個人個人の意識啓発が重要である。そこで、関連講座を開催することにより、さらなる認識の向上に努める。	年1回以上啓発講座を開催する。 その他、庁内の情報の共有化を図り、二次被害の防止に努める。	市民活動支援課

総合評価	総合評価の判定理由	総合評価基準
D	DV対策連携会議の回数、講座開催のみではDVに対する意識啓発は不十分と考えて、この評価にしました。	A…施策は非常に良好に進展している B…施策は良好に進展している C…現状維持 D…施策がやや後退している E…施策が後退している
改善策等の提言		
<p>前年度の提言が活かされていません。事業の取組が18年度から、ほぼ同じ内容となっていますが、DV防止法制定から8年経過して、市におけるDV対策連携会議と協働した取組の成果等を記載してください。</p> <p>DVの情報共有は外部との連携も重要です。警察・医者・カウンセラー、学校関係者等との情報の共有は行われているように思えません。</p> <p>DV防止に関しては、女性センターの来館者だけでは啓発に限度があるため、様々な工夫が必要です。</p> <p>DVに関する情報は、スーパー、コンビニ、銀行、デパート、医療機関、薬局、教育機関等の女性トイレに置くことも必要です。意識啓発には、公共の全ての施設や自治会の回覧板の利用も有効です。</p>		

II 女性の人権の尊重と健康支援

(2) 性に対する女性の権利の確立と健康支援

① 生涯を通じた女性の健康支援

事業項目	19年度の取組と実績 (a)	20年度の取組と実績 (a)											
母子の健康増進 (068)－①	女性の健康のための啓発・健康維持を目的とする各種の講座を開催した。	女性の健康のための啓発・健康維持を目的とする各種の講座を開催した。											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>講座名</th> <th>回数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>リプロダクティブ・ヘルス/ライツ講座 「イキイキ更年期～頼れる婦人科医の先生に聞こう～」</td> <td>1</td> <td>38人</td> </tr> </tbody> </table>	講座名	回数	参加人数	リプロダクティブ・ヘルス/ライツ講座 「イキイキ更年期～頼れる婦人科医の先生に聞こう～」	1	38人	<table border="1"> <thead> <tr> <th>講座名</th> <th>回数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>リプロダクティブ・ヘルス/ライツ講座 「女性だから気になる病気」</td> <td>1</td> <td>24人</td> </tr> </tbody> </table>	講座名	回数	参加人数	リプロダクティブ・ヘルス/ライツ講座 「女性だから気になる病気」	1
講座名	回数	参加人数											
リプロダクティブ・ヘルス/ライツ講座 「イキイキ更年期～頼れる婦人科医の先生に聞こう～」	1	38人											
講座名	回数	参加人数											
リプロダクティブ・ヘルス/ライツ講座 「女性だから気になる病気」	1	24人											

府中市男女共同参画推進懇談会による第三者評価（項目評価及び総合評価）

項目評価基準	評価	項目評価基準	評価
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	2	5…達成されている 【100%】	
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	4	4…ほぼ達成されている 【80～99%】	
(c) 課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか	2	3…概ね達成されている 【60～79%】	
(d) 適切な数値目標が提示されているか	3	2…達成半ばである 【40～59%】	
		1…不十分である 【～39%】	

担当課評価基準

- 5…予定より大きな成果が出ている  
4…予定よりやや大きな成果が出ている  
3…予定した成果が出ている【基準=100%の達成率】  
2…予定した成果があまり出ていない  
1…予定した成果が出ていない

担当課評価 (b)	評価の内容と今後の課題 (b)	21年度計画 (c)	数値目標 (d)	担当課
2	リプロダクティブ・ヘルス/ライツという言葉は、浸透してきているが、定員40人に対し、参加者が24人であり、参加者は定員の60%程度であったため評価を2とした。今後は、より多くの参加者の確保に努めたい。	リプロダクティブ・ヘルス/ライツ講座を1回以上実施する。 その他、リプロダクティブ・ヘルス/ライツという言葉の啓発に努める。	主催講座の参加者を定員の80%以上とする。	市民活動支援課

総合評価	総合評価の判定理由	総合評価基準
D	この事業の取組については、講座の参加者数を増加させるための工夫等についての前年度の提言が活かされていないので、この評価にしました。	A…施策は非常に良好に進展している B…施策は良好に進展している C…現状維持 D…施策がやや後退している E…施策が後退している
改善策等の提言		
<p>リプロダクティブ・ヘルス/ライツの講座は、言葉として受け入れにくい点がありますので、講座名を説明する等の必要があると考えます。この言葉を普及するように努めてください。</p> <p>講座の開催方法について、参加者数が増えない原因を分析・対策したことを記載してください。また、女性の健康に関する事業は、関連事業（009：健康診査事業の充実等）とリンクした取組、例えば、両親学級で男性への理解を啓発するために、健康推進課の関連事業とリンクした取組等を開拓する等、関係課と連携して取り組むことが必要だと考えます。</p> <p>また、就労している女性は、会社等から情報を得ることができますが、専業主婦等は情報を得る機会が少ないため、こういった方に対して、どのように周知、啓発するかが課題です。</p> <p>リプロダクティブ・ヘルス/ライツについては、若い頃から意識を持つことが必要であり、中学、高校の保健体育の時間に入れることも提案します。また、文化センターや生涯学習センター等を会場に使用する等、参加者の増員についての工夫をしてください。</p> <p>保健センターや体育館等に、リプロダクティブ・ヘルス/ライツに関するパンフレット等を置いて、啓発することを提案します。</p>		

II 女性の権利の尊重と健康支援

(2) 性に対する女性の権利の確立と健康支援

① 生涯を通じた女性の健康支援

事業項目	19年度の取組と実績 (a)	20年度の取組と実績 (a)		
母子の健康増進 (068)－②	母子の健康保持と増進を図るため、健康診査、相談及び教育事業等を実施した。	母子の健康保持と増進を図るため、健康診査、相談及び教育事業等を実施した。		
	3～4 か月児健康診査	2,282 人	3～4 か月児健康診査	2,248 人
	6～7 か月児健康診査	2,180 人	6～7 か月児健康診査	2,160 人
	9～10 か月児健康診査	2,153 人	9～10 か月児健康診査	2,070 人
	1歳6 か月児健康診査	2,068 人	1歳6 か月児健康診査	2,269 人
	3歳児健康診査	2,155 人	3歳児健康診査	2,000 人
	乳幼児発達健康診査	62 人	乳幼児発達健康診査	67 人
	乳幼児経過観察健康診査	171 人	乳幼児経過観察健康診査	147 人
	乳幼児精密健康診査	174 人	乳幼児精密健康診査	135 人
	妊婦健康診査 (前期)	2,282 人	妊婦健康診査 (5回)	12,300 人
	妊婦健康診査 (後期)	2,214 人	産婦健康診査	2,223 人
	産婦健康診査	2,250 人	母親学級 (4回コース)	1,162 人
	母親学級 (4回コース)	1,127 人	両親学級 (半日コース)	525 人
	両親学級 (半日コース)	456 人	ママクラスクッキング	57 人
	ママクラスクッキング	50 人	妊産婦訪問指導	316 人
	妊産婦訪問指導	229 人	新生児訪問指導	1,649 人
	新生児訪問指導	1,375 人	乳幼児訪問指導	459 人
	乳幼児訪問指導	463 人	子育て相談室	4,372 人
	子育て相談室	4,050 人	地域子育てクラス	97 人
	離乳食教室	906 人	離乳食教室	1,084 人
	幼児食教室	108 人	幼児食教室	110 人
	母子保健相談	1,940 人	母子保健相談	895 人
	妊婦歯科健康診査	719 人	妊婦歯科健康診査	747 人
	親と子の歯みがき教室	276 人	親と子の歯みがき教室	264 人
	予防歯科指導教室	653 人	予防歯科指導教室	690 人
	幼児歯科検診	2,115 人	幼児歯科検診	2,447 人
	保育所等巡回歯科保健指導	2,059 人	保育所等巡回歯科保健指導	2,339 人
	妊産婦・乳幼児保健指導	141 人	妊産婦・乳幼児保健指導	145 人
	母子栄養強化食品支給	643 人	母子栄養強化食品支給	613 人
	予防接種	19,756 人	予防接種	25,914 人

担当課評価基準

5…予定より大きな成果が出ている

4…予定よりやや大きな成果が出ている

3…予定した成果が出ている【基準=100%の達成率】

2…予定した成果があまり出ていない

1…予定した成果が出ていない

担当課評価 (b)	評価の内容と今後の課題 (b)	21年度計画 (c)	数値目標 (d)	担当課
3	乳幼児健康診査の受診率は、一定の水準を維持している。教育事業は実施回数を増設した。支援の必要な家庭に対してタイムリーで適切な支援を実施できるよう関係機関との連携体制をさらに整備することが課題である。	乳幼児の健康診査、相談、及び教育事業を実施し、健康の保持・増進に努める。支援の必要な家庭に対して適切でタイムリーな支援を行う。	未受診者全件の状況把握及び4か月児までの全戸訪問。	健康推進課

府中市男女共同参画推進懇談会による第三者評価 (項目評価及び総合評価)

項目評価基準	評価	項目評価基準
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	5…達成されている 【100%】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	4	4…ほぼ達成されている 【80～99%】
(c) 課題に即した改善策 (次年度計画) が立てられているか	3	3…概ね達成されている 【60～79%】
(d) 適切な数値目標が提示されているか	4	2…達成半ばである 【40～59%】
		1…不十分である 【～39%】

総合評価	総合評価の判定理由	総合評価基準
B	母子の健康保持と増進を図るための多種多様な健康診査、相談及び教育事業等を実施していることで、この評価にしました。	A…施策は非常に良好に進展している
	改善策等の提言	B…施策は良好に進展している
	子育てしやすい街として人気の府中市です。安心して安全な街として評価するポイントとして、各事業の利用状況とそのフォロー活動の実績が参考になると思います。各事業の対象者数または受診率、4か月児までの全戸訪問数を記載してください。両親学級等、男性 (父親) が参加できるクラスもあり、そういう場を活用して、リプロダクティブ・ヘルス/ライツの啓発も行うことを提案します。	C…現状維持
		D…施策がやや後退している
		E…施策が後退している

II 女性の人権の尊重と健康支援

(2) 性に対する女性の権利の確立と健康支援

① 生涯を通じた女性の健康支援

事業項目	19年度の取組と実績 (a)	20年度の取組と実績 (a)
健康診査事業の充実 (069)	各種がんや骨粗しょう症等の早期発見、治療のための健康診査等、予防に重点をおいた健康指導を行う。	
	区分	19年度実績
	子宮がん検診	5,341人(すべて女性)
	乳がん検診	3,274人(すべて女性)
	大腸がん検診	3,195人
	肺がん検診	201人
	喉頭がん検診	98人
	胃がん検診	3,393人
	骨粗しょう症検診	368人
	区分	20年度実績
子宮がん検診	5,965人(すべて女性)	
乳がん検診	3,445人(すべて女性)	
大腸がん検診	3,218人	
肺がん検診	197人	
喉頭がん検診	88人	
胃がん検診	3,578人	
骨粗しょう症検診	704人(すべて女性)	

担当課評価基準

- 5…予定より大きな成果が出ている
- 4…予定よりやや大きな成果が出ている
- 3…予定した成果が出ている【基準=100%の達成率】
- 2…予定した成果があまり出ていない
- 1…予定した成果が出ていない

担当課評価 (b)	評価の内容と今後の課題 (b)	21年度計画 (c)	数値目標 (d)	担当課																
2	各がん健診ごとに受診者数の増減や申込倍率の差があり、受診者数や、定員割れする検診についての原因究明が今後の課題となる。	各種がんや骨粗しょう症等の早期発見、治療のための健康診査等、予防に重点をおいた健康指導を行う。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>21年度計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子宮がん検診</td> <td>5,300人(すべて女性)</td> </tr> <tr> <td>乳がん検診</td> <td>3,500人(すべて女性)</td> </tr> <tr> <td>大腸がん検診</td> <td>3,000人</td> </tr> <tr> <td>肺がん検診</td> <td>200人</td> </tr> <tr> <td>喉頭がん検診</td> <td>125人</td> </tr> <tr> <td>胃がん検診</td> <td>4,000人</td> </tr> <tr> <td>骨粗しょう症検診</td> <td>700人(すべて女性)</td> </tr> </tbody> </table>	区分	21年度計画	子宮がん検診	5,300人(すべて女性)	乳がん検診	3,500人(すべて女性)	大腸がん検診	3,000人	肺がん検診	200人	喉頭がん検診	125人	胃がん検診	4,000人	骨粗しょう症検診	700人(すべて女性)	肺がん検診、喉頭がん検診については定員に達しておらず、前年の数値を目標としたい。	健康推進課
区分	21年度計画																			
子宮がん検診	5,300人(すべて女性)																			
乳がん検診	3,500人(すべて女性)																			
大腸がん検診	3,000人																			
肺がん検診	200人																			
喉頭がん検診	125人																			
胃がん検診	4,000人																			
骨粗しょう症検診	700人(すべて女性)																			

府中市男女共同参画推進懇談会による第三者評価 (項目評価及び総合評価)

項目評価基準	評価	項目評価基準
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	5…達成されている 【100%】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	3	4…ほぼ達成されている 【80~99%】
(c) 課題に即した改善策 (次年度計画) が立てられているか	3	3…概ね達成されている 【60~79%】
(d) 適切な数値目標が提示されているか	3	2…達成半ばである 【40~59%】
		1…不十分である 【~39%】

総合評価	総合評価の判定理由	総合評価基準
C	各々のがん検診の計画定員数が横ばいで、定員割れしている検診についての原因究明がなされていないので、この評価にしました。	A…施策は非常に良好に進展している B…施策は良好に進展している C…現状維持 D…施策がやや後退している E…施策が後退している
改善策等の提言		
<p>骨粗しょう症検診の受診者数が倍増していますが、検診増加の方法に改善点があったのでしょうか。そうであれば、その手法が他の検診に生かされるのか、評価に記載してください。</p> <p>未受診者状況の分析ができれば、事業の効果も高まるのではないかと考えます。大腸がん、肺がん、喉頭がん、胃がん検診者の男女比及び、検診料の有料・無料についても記載してください。</p> <p>がん患者数が増加傾向にある現在、検診の計画定員数を増やすことを提案します。特に、死亡率の高い肺がんについては、計画定員数を増やすとともに、タバコの禁煙活動、タバコのポイ捨て禁止活動の中で肺がん、喉頭がん検診受診の広報を行うことを提言します。学校教育の中で、死亡原因第1位の肺がんに対しての喫煙の害や検診のことを麻薬等の害と共に教えることを提言します。職場への啓発活動も必要です。予防に重点をおいた健康指導を事業目的にしているため、がん検診は全て無料にすることを要望します。乳がん、子宮がん検診の無料クーポンの利用を市民にもっと知らせる工夫が必要です。</p> <p>がん検診は早期発見を目標としています。そのことを考えると計画人数を増やすことが重要です。府中市の成人女性数の割合から見て少なすぎると考えます。</p>		

II 女性の人権の尊重と健康支援

(2) 性に対する女性の権利の確立と健康支援

① 生涯を通じた女性の健康支援

事業項目	19年度の取組と実績 (a)	20年度の取組と実績 (a)
学校教育等におけるエイズ、薬物、飲酒・喫煙等の予防・啓発 (070)－①	18年度に引き続き、東京都薬物乱用防止指導員による市内各中学校生徒への薬物乱用防止ポスター・標語の募集に対し、ポスター122点、標語147点の応募があった。	前年度に引き続き、桜まつり、リサイクルフェア、商工まつり、市民健康まつり等で街頭キャンペーンを実施した。また、市内の5中学校から、薬物乱用防止ポスター及び標語の募集を行い、ポスター90点、標語75点の応募があった。

府中市男女共同参画推進懇談会による第三者評価（項目評価及び総合評価）

項目評価基準	評価	項目評価基準
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	5…達成されている 【100%】 4…ほぼ達成されている 【80～99%】 3…概ね達成されている 【60～79%】 2…達成半ばである 【40～59%】 1…不十分である 【～39%】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	3	
(c) 課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか	3	
(d) 適切な数値目標が提示されているか	3	

担当課評価基準

- 5…予定より大きな成果が出ている  
4…予定よりやや大きな成果が出ている  
3…予定した成果が出ている【基準=100%の達成率】  
2…予定した成果があまり出ていない  
1…予定した成果が出ていない

担当課評価 (b)	評価の内容と今後の課題 (b)	21年度計画 (c)	数値目標 (d)	担当課
3	薬物乱用防止のポスター及び標語の応募数は、昨年度より少なく、街頭キャンペーンで市民の関心度が欠けることが課題である。	ポスター及び標語の応募について、今まで以上の協力を学校に依頼する。また、街頭キャンペーンについても創意工夫をして、関心度を高めたい。	ポスター及び標語の応募数を19年度程度確保出来るよう、働きかけていく。	健康推進課

総合評価	総合評価の判定理由	総合評価基準
C	前年度より市内中学校生徒からの薬物乱用防止ポスター・標語の応募が少なかったということと、街頭キャンペーンへの市民の関心度が低かったということで、この評価にしました。	A…施策は非常に良好に進展している B…施策は良好に進展している C…現状維持 D…施策がやや後退している E…施策が後退している
改善策等の提言		
<p>この事業は、全市民に対してエイズ、薬物、飲酒・喫煙等の予防・啓発をするために実施されているものですが、街頭キャンペーンで成果があがらないとすれば、他の方策も工夫する必要があると考えます。前年度の提言に記載されているように、市民向けと同様に、児童・生徒・学生を対象とした講演会を開催することも一案と考えます。ただし、多くの市民が参加するイベント会場での街頭キャンペーンは、行うことに意義があると思いますので継続してください。</p> <p>前年度よりポスター・標語の応募数が少なかったのは、特定の5中学校に限ったからと推察できます。ポスター・標語の募集に際して、東京都薬物乱用防止指導員が指導をしているとのことで、中学生にとっては、指導を受けること自体が薬物乱用の予防・啓発のために有意義なので、市内中学校全校にこの事業への協力を要請すること、また、この事業については、同じ事業項目に取り組む学務保健課 (070-②)、指導室 (070-③) とともに連携して、この施策を推進することを提言します。</p>		

II 女性の人権の尊重と健康支援

(2) 性に対する女性の権利の確立と健康支援

① 生涯を通じた女性の健康支援

事業項目	19年度の取組と実績 (a)	20年度の取組と実績 (a)
学校教育等におけるエイズ、薬物、飲酒・喫煙等の予防・啓発 (070)－②	多摩府中保健所と共同して、啓発活動に努めた。特に啓発資料を各学校に配布した。エイズの研修会参加や街頭キャンペーンに参加した。	多摩府中保健所と共同して、啓発活動に努めた。特に啓発資料を各学校に配布した。エイズの研修会参加や街頭キャンペーンに参加した。保健連絡会で保健所よりエイズの講演をしてもらった。レッドリボンを教育委員会職員がつけた。

府中市男女共同参画推進懇談会による第三者評価（項目評価及び総合評価）

項目評価基準	評価	項目評価基準
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	2	5…達成されている 【100%】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	2	4…ほぼ達成されている 【80～99%】
(c) 課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか	2	3…概ね達成されている 【60～79%】
(d) 適切な数値目標が提示されているか	2	2…達成半ばである 【40～59%】
		1…不十分である 【～39%】

担当課評価基準

- 5…予定より大きな成果が出ている  
 4…予定よりやや大きな成果が出ている  
 3…予定した成果が出ている【基準=100%の達成率】  
 2…予定した成果があまり出ていない  
 1…予定した成果が出ていない

担当課評価 (b)	評価の内容と今後の課題 (b)	21年度計画 (c)	数値目標 (d)	担当課
3	各学校におけるエイズ、薬物、飲酒・喫煙の予防啓発が進んできている。	多摩府中保健所と共同して、啓発活動に努め、特に啓発資料を各学校に配布する。講演会や研修会に参加する。エイズの街頭キャンペーンに参加する。	引き続き各学校におけるエイズ、薬物、飲酒・喫煙の予防啓発を進めていく。	学務保健課

総合評価	総合評価の判定理由	総合評価基準
D	この事業の取組と実績の記載では、エイズ、薬物、飲酒・喫煙等の予防・啓発活動の実態が見えません。啓発資料の配布や研修会への参加等では積極的に活動したとは言えないと判断し、この評価としました。	A…施策は非常に良好に進展している B…施策は良好に進展している C…現状維持 D…施策がやや後退している E…施策が後退している
改善策等の提言		
<p>前年度の提言にどのように取り組んだか、また取り組まなかったとすればその理由等を記載してください。また、エイズの研修会参加や街頭キャンペーンに参加したり、教育委員会職員がレッドリボンをつけたということですが、この事業である啓発活動にどのような働きかけが行われたのか、その意味等が伝わるように具体的な結果報告を記載してあると、事業の実績が理解できると思います。</p> <p>この事業については、同じ事業項目に取り組む健康推進課（070－①）、指導室（070－③）とも連携して、この施策を推進することを提言します。</p>		

II 女性の人権の尊重と健康支援

(2) 性に対する女性の権利の確立と健康支援

① 生涯を通じた女性の健康支援

事業項目	19年度の取組と実績 (a)	20年度の取組と実績 (a)
学校教育等におけるエイズ、薬物、飲酒・喫煙等の予防・啓発 (070)－③	セーフティ教室等において、非行防止の視点から、警察、保健所等の関係機関と連携し実施した。	保健の授業を中心に指導するほか、警察・保護者・地域の方々と連携して非行・犯罪被害防止教育の場であるセーフティ教室を全校で実施。

府中市男女共同参画推進懇談会による第三者評価（項目評価及び総合評価）

項目評価基準	評価	項目評価基準
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	5…達成されている 【100%】 4…ほぼ達成されている 【80～99%】 3…概ね達成されている 【60～79%】 2…達成半ばである 【40～59%】 1…不十分である 【～39%】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	2	
(c) 課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか	3	
(d) 適切な数値目標が提示されているか	3	

担当課評価基準

- 5…予定より大きな成果が出ている  
4…予定よりやや大きな成果が出ている  
3…予定した成果が出ている【基準=100%の達成率】  
2…予定した成果があまり出していない  
1…予定した成果が出ていない

担当課評価 (b)	評価の内容と今後の課題 (b)	21年度計画 (c)	数値目標 (d)	担当課
3	保健の授業での指導、セーフティ教室を市立小・中学校全校で実施した。	各学校の教育課程に適正に位置付け、保健の授業を中心に指導するとともに、警察とも連携しセーフティ教室で薬物乱用防止、喫煙防止等に取り組む。	市立小・中学校 33校で実施	指導室

総合評価	総合評価の判定理由	総合評価基準
C	市立小・中学校全校において、保健の授業での指導と非行・犯罪防止教育の場であるセーフティ教室が実施されたということですが、そこで行われた指導内容がこの事業に沿ったものであったのか、この記載では明確でないため、この評価にしました。	A…施策は非常に良好に進展している B…施策は良好に進展している C…現状維持 D…施策がやや後退している E…施策が後退している
改善策等の提言		
<p>昨今、薬物乱用による事件が頻発しています。この事業項目である「学校教育におけるエイズ、薬物、飲酒・喫煙等の予防・啓発」については、市立小・中学校の教育課程の中で、健康面及び法的な面での指導を行うことが必要であると考えます。前年度の提言については、21年度の計画に取り組みれるということで、その実施結果を期待します。</p> <p>また、この事業については、同じ事業項目に取り組む健康推進課（070－①）、学務保健課（070－②）とも連携して、この施策を推進することを提言します。</p>		

II 女性の人権の尊重と健康支援

(2) 性に対する女性の権利の確立と健康支援

② 年齢に応じた性に関する正確な知識の取得

事業項目	19年度の取組と実績 (a)	20年度の取組と実績 (a)
学校教育の中での知識の提供・啓発 (077)	発達段階に応じて、性に関する教育を養護教諭と連携して実施した。	市立小・中学校全 33 校で、学習指導要領に従い、保健の授業の中で児童・生徒の発達段階や特性に応じた指導を実施した。

府中市男女共同参画推進懇談会による第三者評価（項目評価及び総合評価）

項目評価基準	評価	項目評価基準
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	5…達成されている 【100%】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	2	4…ほぼ達成されている 【80～99%】
(c) 課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか	3	3…概ね達成されている 【60～79%】
(d) 適切な数値目標が提示されているか	3	2…達成半ばである 【40～59%】
		1…不十分である 【～39%】

担当課評価基準

- 5…予定より大きな成果が出ている  
 4…予定よりやや大きな成果が出ている  
 3…予定した成果が出ている【基準=100%の達成率】  
 2…予定した成果があまり出していない  
 1…予定した成果が出ていない

担当課評価 (b)	評価の内容と今後の課題 (b)	21年度計画 (c)	数値目標 (d)	担当課
3	今後も継続して指導するとともに、児童・生徒が正しい知識に基づく適切な行動ができるよう、指導の充実を図る。	市立小・中学校全校で、学習指導要領に従い、保健の授業を中心に児童・生徒の発達段階に応じた指導を行う。	市立小・中学校 33 校で実施。	指導室

総合評価	総合評価の判定理由	総合評価基準
C	学校教育における「性に関する自己決定能力を育てる教育」は人権尊重教育の重要な指導内容にとらえ、市立小・中学校全校で保健の授業の中で実施できたため、この評価にしました。	A…施策は非常に良好に進展している B…施策は良好に進展している C…現状維持 D…施策がやや後退している E…施策が後退している
改善策等の提言		
性教育＝人権尊重教育の視点から、児童・生徒一人ひとりが正しく判断できるようにする性教育の指導を、引き続き、市立小・中学校全校において、発達段階や特性に応じた指導を計画的に実施することが大切です。指導内容やテーマについて具体的に記載してください。		



II 女性の人権の尊重と健康支援

(4) 相談体制の充実

① 相談窓口の充実

事業項目	19年度の取組と実績 (a)	20年度の取組と実績 (a)	
女性自身に関する相談の充実 (083)－①	人権身の上相談 基本的人権が侵害される諸問題や悩み事に対し、人権擁護委員が助言・指導を行った。	人権身の上相談 基本的人権が侵害される諸問題や悩み事に対し、人権擁護委員が助言・指導を行った。	
	内 容	内 容	
	相談件数	相談件数	
	人権	12	
	身の上	67	
	合 計	79	
		人権	10
		身の上	55
		合 計	65

担当課評価基準

5…予定より大きな成果が出ている

4…予定よりやや大きな成果が出ている

3…予定した成果が出ている【基準=100%の達成率】

2…予定した成果があまり出ていない

1…予定した成果が出ていない

担当課 評価 (b)	評価の内容と今後の課題 (b)	21年度計画 (c)	数値目標 (d)	担当課
3	人権問題の相談は減少しているが、社会の複雑化のためか地域や家族間の悩み事が増加している。これに対し、相談を受けに来た人には、適切な助言・アドバイス等が行えている。 なお、人権問題については、埋没している問題も考えられるため、法務局と連携を取りながら活動を進めていく。	毎月第1・3木曜日、午後2時～4時に市民相談室で実施する。	相談は増減があるため、適切な目標は定めにくい。過去3年の実績及び埋没している人権問題の早期発見も考慮し、80件を目標とする。	広報課

府中市男女共同参画推進懇談会による第三者評価（項目評価及び総合評価）

項目評価基準	評価	項目評価基準
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	5…達成されている 【100%】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	3	4…ほぼ達成されている 【80～99%】
(c) 課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか	2	3…概ね達成されている 【60～79%】
(d) 適切な数値目標が提示されているか	3	2…達成半ばである 【40～59%】
		1…不十分である 【～39%】

総合評価	総合評価の判定理由	総合評価基準
C	20年度の取組と実績に記載された内容により、事業の継続性は保持されているので、この評価にしました。	A…施策は非常に良好に進展している
	改善策等の提言	B…施策は良好に進展している
	前年度の提言にある関係部署との連携活動・取組について検討された内容が、「過去3年間の実績及び埋没している人権問題の早期発見も考慮し、80件を目標とする」ということなのでしょうか。早期発見することは、大変重要と思いますが、単独の活動では困難と考えます。この事業計画の相談日数、時間では、対策が不十分と考えます。具体策を講じることを要望します。	C…現状維持
	相談者に対し、相談終了後にアンケートを行い、市民のためにより一層良い相談事業になるよう努力してください。	D…施策がやや後退している
		E…施策が後退している

II 女性の権利の尊重と健康支援

(4) 相談体制の充実

① 相談窓口の充実

事業項目	19年度の取組と実績 (a)	20年度の取組と実績 (a)
女性自身に関する相談の充実 (083) - ②	<p>女性問題相談の中で、女性に関するあらゆる悩み（離婚、DV、家族等）の相談事業を実施し、自分らしい生き方を見つけるための援助をした。また、DV被害者に対する二次被害防止につながる相談の支援に努めた。</p> <p>(1) 相談体制 月曜日～金曜日（平日）、午前9時～午後5時 相談員2人（月・火は1人）</p> <p>(2) 19年度女性問題相談総件数 962件</p> <p>(3) 相談機関連携会議1回 庁内の相談機関との連携を深めるとともに、各機関における窓口業務の中で、相談者への二次被害を防ぐための対応を再確認した。</p>	<p>女性問題相談の中で、女性に関するあらゆる悩み（離婚、DV、家族等）の相談事業を実施し、自分らしい生き方を見つけるための援助をした。また、DV被害者に対する二次被害防止につながる相談の支援に努めた。</p> <p>(1) 相談体制 月曜日～金曜日（平日）、午前9時～午後5時 相談員2人（月・火は1人）</p> <p>(2) 20年度女性問題相談総件数 1,052件</p> <p>(3) 相談機関連携会議1回 庁内の相談機関との連携を深めるとともに、各機関における窓口業務の中で、相談者への二次被害を防ぐための対応を再確認した。</p>

府中市男女共同参画推進懇談会による第三者評価（項目評価及び総合評価）

項目評価基準	評価	項目評価基準
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	5…達成されている 【100%】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	3	4…ほぼ達成されている 【80～99%】
(c) 課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか	3	3…概ね達成されている 【60～79%】
(d) 適切な数値目標が提示されているか	3	2…達成半ばである 【40～59%】
		1…不十分である 【～39%】

担当課評価基準

- 5…予定より大きな成果が出ている  
4…予定よりやや大きな成果が出ている  
3…予定した成果が出ている【基準=100%の達成率】  
2…予定した成果があまり出ていない  
1…予定した成果が出ていない

担当課評価 (b)	評価の内容と今後の課題 (b)	21年度計画 (c)	数値目標 (d)	担当課
3	<p>東京都によると、都への相談件数が若干減少し、区市町村への相談件数が増えているとの調査結果が出ている。本市における19年度と20年度の相談件数を比べると、件数が増加しているが、一概に、女性に関わる問題が増えているとは言えない。</p> <p>また、認識している限り、DV被害者等への二次被害が発生していないことを評価した。</p>	<p>相談体制等については、同内容で継続する。</p> <p>引き続き、各機関との連携を密に図り、二次被害の防止に努める。</p>	<p>相談件数の目標を数値化することは困難であるため、市民が相談しやすい環境を整えることを目標とする。</p> <p>二次被害については、引き続き防止に努める。</p>	市民活動支援課

総合評価	総合評価の判定理由	総合評価基準
C	<p>少ない相談員によって、前年度より増加している女性問題の相談によく対応しているため、この評価にしました。</p>	<p>A…施策は非常に良好に進展している</p> <p>B…施策は良好に進展している</p> <p>C…現状維持</p> <p>D…施策がやや後退している</p> <p>E…施策が後退している</p>
改善策等の提言		
<p>女性問題に関する相談は、一つひとつの相談がますます深刻化していると想像します。中には、児童虐待や精神保健の視点での関わりも必要になることもあると考えます。職員のスキルアップやタイムリーな連携等の課題に限らず、成果も関係部署へ周知することで事業の効果が向上するのではないかと期待します。</p> <p>しかし、「一概に女性に関わる問題が増えているとは言えない」とありますが、相談件数の内訳とその相談件数を記載してください。相談の内訳と結果、またどこにつなげたか等を記載してください。</p> <p>相談機関連携会議は庁内のどの機関で構成されているのか明記してください。また、二次被害の防止対策を毎年テーマにしているようですが、それが発生していないことは何によってわかったのかわかりません。相談者自身が「二次被害」はどういうものか知らない場合は、被害があったかどうかはわかりません。どう対処しているのか記載してください。</p> <p>相談窓口の連携も大切ですが、相談者が窓口をいろいろ回されないようにすることが二次被害防止になります。窓口の一元化（ワンストップサービス）を提案します。</p> <p>相談内容を分析し、データを積み上げ、必要な施策に生かすように提案します。</p> <p>相談者側から、二次被害を受けたということを相談所に訴えにくいものです。「自分が被害にあっている」とわかっていない人やその周辺の人へのアプローチなど関係機関と取り組む事業もあってもよいと考えます。</p>		

II 女性の人権の尊重と健康支援

(4) 相談体制の充実

① 相談窓口の充実

事業項目	19年度の取組と実績 (a)	20年度の取組と実績 (a)
女性自身に関する相談の充実 (083)－③	母子家庭や寡婦・女性が抱えている問題について、専門相談員による相談を実施した。 相談件数 2,097件	母子家庭や寡婦・女性が抱えている問題について、専門相談員による相談を実施した。 相談件数 2,308件

府中市男女共同参画推進懇談会による第三者評価（項目評価及び総合評価）

項目評価基準	評価	項目評価基準
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	2	5…達成されている 【100%】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	3	4…ほぼ達成されている 【80～99%】
(c) 課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか	3	3…概ね達成されている 【60～79%】
(d) 適切な数値目標が提示されているか	3	2…達成半ばである 【40～59%】
		1…不十分である 【～39%】

担当課評価基準

- 5…予定より大きな成果が出ている  
 4…予定よりやや大きな成果が出ている  
 3…予定した成果が出ている【基準=100%の達成率】  
 2…予定した成果があまり出していない  
 1…予定した成果が出ていない

担当課評価 (b)	評価の内容と今後の課題 (b)	21年度計画 (c)	数値目標 (d)	担当課
3	相談件数は増加しているが、引き続き専門相談員2人体制で対応している。今後も個々の相談内容に応じて対応していく。	相談件数が引き続き増加することが見込まれるため、2人体制を継続し、関係機関と連携しながら相談に応じていく。	専門相談員 2人	子育て支援課

総合評価	総合評価の判定理由	総合評価基準
C	相談件数の増加する中、専門相談員の2人体制でよく対応しているため、この評価にしました。	A…施策は非常に良好に進展している B…施策は良好に進展している C…現状維持 D…施策がやや後退している E…施策が後退している
改善策等の提言		
前年度の計画には、「母子自立支援プログラム策定事業により、自立に向けた就労支援を行う」と記載していましたが、その実績を記載してください。 相談窓口をもつ各課の全庁的な連携システムづくりが必要ですが、厳しい環境下におかれ、心身共に大変な母子家庭や寡婦への支援に対し、窓口の一元化（ワンストップサービス）を提案します。		

## II 女性の人権の尊重と健康支援

### (4) 相談体制の充実

#### ① 相談窓口の充実

事業項目	19年度の取組と実績 (a)	20年度の取組と実績 (a)
子どもに関する相談の充実 (085)－①	「子育て相談室」を開設し、電話・来所・訪問による妊産婦及び乳幼児の健康、食事、歯科衛生に関することや妊娠・出産及び育児に関する相談を受けている。	
	相談体制	月曜日～金曜日 午前8時半～午後5時
	相談担当	保健師・看護師・栄養士 歯科衛生士
	相談件数	保健相談 3,581件 栄養相談 278件 歯科相談 191件
		「子育て相談室」を開設し、電話・来所・訪問による妊産婦及び乳幼児の健康、食事、歯科衛生に関することや妊娠・出産及び育児に関する相談を受けている。
		相談体制
		相談担当
		相談件数

#### 担当課評価基準

5…予定より大きな成果が出ている

4…予定よりやや大きな成果が出ている

3…予定した成果が出ている【基準=100%の達成率】

2…予定した成果があまり出していない

1…予定した成果が出していない

担当課 評価 (b)	評価の内容と今後の課題 (b)	21年度計画 (c)	数値目標 (d)	担当課
3	相談内容が多種多様化している。相談から他の母子保健事業への連動、訪問を実施している。内容により関係機関の紹介、連携も実施しているが、タイムリーによりよい支援ができるよう関係機関との連携強化が必要である。	新生児訪問や母親学級等を活用して、子育て相談室の周知を図る。	「子育て相談室」の活用について全対象者に周知する。	健康推進課

### 府中市男女共同参画推進懇談会による第三者評価（項目評価及び総合評価）

項目評価基準	評価	項目評価基準
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	5…達成されている 【100%】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	4	4…ほぼ達成されている 【80～99%】
(c) 課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか	2	3…概ね達成されている 【60～79%】
(d) 適切な数値目標が提示されているか	3	2…達成半ばである 【40～59%】
		1…不十分である 【～39%】

総合評価	総合評価の判定理由	総合評価基準
C	「子育て相談室」において子どもに関する多様な相談を、専門家が担当して行っており、相談体制がほぼ充実してきているので、この評価にしました。	A…施策は非常に良好に進展している B…施策は良好に進展している C…現状維持 D…施策がやや後退している E…施策が後退している
	改善策等の提言	
	相談内容が多種多様化していて関係他機関との連携強化が必要とのことですが、利用者のニーズに合わせた支援をさらに充実させて、この事業を推進するよう期待します。 利用者に対し、相談終了後にアンケートを行い、利用者のニーズや満足度を把握して相談事業を充実することを提案します。 また、働く子育て家庭のために、土日に相談窓口を開設することを要望します。	

Ⅱ 女性の人権の尊重と健康支援

(4) 相談体制の充実

① 相談窓口の充実

事業項目	19年度の取組と実績 (a)	20年度の取組と実績 (a)																																								
子どもに関する相談の充実 (085)－②	子ども家庭支援センター「たち」 「しらとり」において、総合相談事業を実施した。	子ども家庭支援センター「たち」 「しらとり」において、総合相談事業を実施した。																																								
	<table border="1"> <tr><td>区分</td><td>件数</td><td>区分</td><td>件数</td></tr> <tr><td>虐待</td><td>180</td><td>育成</td><td>54</td></tr> <tr><td>養育困難</td><td>173</td><td>育児</td><td>210</td></tr> <tr><td>障害</td><td>27</td><td>その他</td><td>60</td></tr> <tr><td>保健</td><td>33</td><td>合計</td><td>737</td></tr> </table>	区分	件数	区分	件数	虐待	180	育成	54	養育困難	173	育児	210	障害	27	その他	60	保健	33	合計	737	<table border="1"> <tr><td>区分</td><td>件数</td><td>区分</td><td>件数</td></tr> <tr><td>虐待</td><td>182</td><td>育成</td><td>57</td></tr> <tr><td>養育困難</td><td>198</td><td>育児</td><td>258</td></tr> <tr><td>障害</td><td>28</td><td>その他</td><td>48</td></tr> <tr><td>保健</td><td>42</td><td>合計</td><td>813</td></tr> </table>	区分	件数	区分	件数	虐待	182	育成	57	養育困難	198	育児	258	障害	28	その他	48	保健	42	合計	813
	区分	件数	区分	件数																																						
	虐待	180	育成	54																																						
	養育困難	173	育児	210																																						
障害	27	その他	60																																							
保健	33	合計	737																																							
区分	件数	区分	件数																																							
虐待	182	育成	57																																							
養育困難	198	育児	258																																							
障害	28	その他	48																																							
保健	42	合計	813																																							
新規相談件数 737 件	新規相談件数 813 件																																									
	延べ支援回数 20,710 回																																									

府中市男女共同参画推進懇談会による第三者評価（項目評価及び総合評価）

項目評価基準	評価	項目評価基準
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	5…達成されている 【100%】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	3	4…ほぼ達成されている 【80～99%】
(c) 課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか	4	3…概ね達成されている 【60～79%】
(d) 適切な数値目標が提示されているか	2	2…達成半ばである 【40～59%】
		1…不十分である 【～39%】

担当課評価基準

- 5…予定より大きな成果が出ている  
 4…予定よりやや大きな成果が出ている  
 3…予定した成果が出ている【基準=100%の達成率】  
 2…予定した成果があまり出ていない  
 1…予定した成果が出ていない

担当課 評価 (b)	評価の内容と今後の課題 (b)	21年度計画 (c)	数値目標 (d)	担当課
3	関係機関や保護者等からの相談件数は安定してきており、相談窓口として周知されてきている。研修会等を実施して、相談業務の充実に努めた。	様々な悩みや問題を抱える家族への支援は、長期的な支援が必要である。関係機関との連携や引継が大切であるが、各機関の認識に温度差もあるため、関係機関向けの研修会等を行い共通認識を深め、連携強化を図りながら、子どもと家庭の統合相談に適切に対応していく。	内容的に数値化は難しい。	子育て支援課

総合評価	総合評価の判定理由	総合評価基準
B	この事業の相談件数が増加していることは、子ども家庭支援センター「たち」「しらとり」における相談窓口が市民に周知されてきたこと、及び多様な問題を抱えている相談者への支援が的確になされている結果であると、この評価にしました。	A…施策は非常に良好に進展している B…施策は良好に進展している C…現状維持 D…施策がやや後退している E…施策が後退している
改善策等の提言		
「子ども家庭支援センター」での相談内容の区分欄を見ると、関係機関との連携や引継ぎが必要であることが理解できます。前年度の提言に記載しているように、相談窓口を持つ各課の連携とともに全庁的な連携システムをつくることを、ここでも提案します。 数値目標欄について、内容的に数値化は難しいとしていますが、研修会等の数値や相談事業の目標を文章にして入れてもよいと思います。		

Ⅱ 女性の人権の尊重と健康支援

(4) 相談体制の充実

① 相談窓口の充実

事業項目	19年度の実績と取組 (a)	20年度の実績と取組 (a)
子どもに関する相談の充実 (085)－③	<ul style="list-style-type: none"> <li>○育児相談 (保育所)</li> <li>○子育てひろば「ポップコーン」事業等 25 か所 延参加人数：15,509 人 (内児童 8,233 人)</li> <li>○園庭開放 週 1 回 15 か所 延参加人数：11,581 人 (内児童 6,283 人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○育児相談 (保育所)</li> <li>○子育てひろば「ポップコーン」事業等 30 か所 延参加人数：16,354 人 (内児童 8,526 人)</li> <li>○園庭開放 週 1 回 15 か所 延参加人数：12,476 人 (内児童 6,723 人)</li> </ul>

府中市男女共同参画推進懇談会による第三者評価 (項目評価及び総合評価)

項目評価基準	評価	項目評価基準
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	5…達成されている 【100%】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	3	4…ほぼ達成されている 【80～99%】
(c) 課題に即した改善策 (次年度計画) が立てられているか	2	3…概ね達成されている 【60～79%】
(d) 適切な数値目標が提示されているか	3	2…達成半ばである 【40～59%】
		1…不十分である 【～39%】

担当課評価基準

- 5…予定より大きな成果が出ている
- 4…予定よりやや大きな成果が出ている
- 3…予定した成果が出ている【基準=100%の達成率】
- 2…予定した成果があまり出していない
- 1…予定した成果が出していない

担当課評価 (b)	評価の内容と今後の課題 (b)	21年度計画 (c)	数値目標 (d)	担当課
4	情報交換、交流の場を提供する中で、保育士等による相談がなされている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○育児相談 (保育所)</li> <li>○子育てひろば「ポップコーン」事業等 30 か所</li> <li>○園庭開放 週 1 回 15 か所</li> </ul>	地域子育て支援事業に多くの親子が参加できるように、引き続き充実を図る。	保育課

総合評価	総合評価の判定理由	総合評価基準
C	子育てひろば事業が 5 か所増えていること、園庭開放の延参加人数が増えていること、また、保育士等による育児相談がなされているため、この評価にしました。	A…施策は非常に良好に進展している
	改善策等の提言	B…施策は良好に進展している
	子育てひろば「ポップコーン」事業等の実施か所数が増えていること、また、園庭開放の延参加人数が増えており、担当課の努力が見えます	C…現状維持
	子育てひろば 30 箇所と園庭開放 15 箇所での親子のふれあい、親同士の情報交換や交流の中で、どのような子どもに関する相談がなされたかを、説明してください。	D…施策がやや後退している
	保育所における子育てに関する相談も多種多様であると推察しますが、相談窓口を持つ各課の連携及び全庁的な連携システムが必要であると考えます。	E…施策が後退している
	数値目標に、「地域子育て支援事業に多くの親子が参加できるように、引き続き充実を図る」とありますが、今後の事業を充実させるためにも、現事業の課題を見つけ、「評価の内容と今後の課題」に記載するようにしてください。	

II 女性の人権の尊重と健康支援

(4) 相談体制の充実

① 相談窓口の充実

事業項目	19年度の取組と実績 (a)	20年度の取組と実績 (a)
子どもに関する相談の充実 (085) - ④	<p>女性問題相談および青少年・子ども相談の中で、妊娠、出産、育児期の女性の不安や悩みの相談を受けている。内容や状況により、関係機関への紹介も実施している。</p> <p>(1) 相談体制 月曜日～金曜日 (平日)、午前9時～午後5時、相談員2人 (月・火は1人)</p> <p>(2) 19年度青少年・子ども相談件数 46件</p> <p>(3) 相談機関連携会議</p> <p>5機関…府中警察署、多摩児童相談所、多摩府中保健所、子ども家庭支援センター、民生委員・児童委員</p> <p>6課…指導室、子育て支援課、生活援護課、健康推進課、地域福祉推進課、児童青少年課</p> <p>1回/年</p>	<p>女性問題相談および青少年・子ども相談の中で、妊娠、出産、育児期の女性の不安や悩みの相談を受けている。内容や状況により、関係機関への紹介も実施している。</p> <p>(1) 相談体制 月曜日～金曜日 (平日)、午前9時～午後5時、相談員2人 (月・火は1人)</p> <p>(2) 20年度青少年・子ども相談件数 26件</p> <p>(3) 相談機関連携会議</p> <p>5機関…府中警察署、多摩児童相談所、多摩府中保健所、子ども家庭支援センター、民生委員・児童委員</p> <p>6課…指導室、子育て支援課、生活援護課、健康推進課、地域福祉推進課、児童青少年課</p> <p>1回/年</p>

担当課評価基準

- 5…予定より大きな成果が出ている  
 4…予定よりやや大きな成果が出ている  
 3…予定した成果が出ている【基準=100%の達成率】  
 2…予定した成果があまり出ていない  
 1…予定した成果が出ていない

担当課評価 (b)	評価の内容と今後の課題 (b)	21年度計画 (c)	数値目標 (d)	担当課
3	<p>相談件数は減っているものの、相談内容に応じて診療機関を紹介する等適切なアドバイスがされている。</p> <p>今後は、相談窓口の周知徹底を図っていく。</p>	<p>引き続き、相談業務を実施し、関係機関との連携を図り、相談内容や状況に応じた対応に努める。</p> <p>さらに、周知方法や、内容の充実の検討も同時に行っていく。</p>	<p>今後も相談窓口の周知等を積極的に行って、市民から幅広く活用されるように努めたい。</p>	児童青少年課

府中市男女共同参画推進懇談会による第三者評価 (項目評価及び総合評価)

項目評価基準	評価	項目評価基準
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	2	5…達成されている 【100%】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	2	4…ほぼ達成されている 【80～99%】
(c) 課題に即した改善策 (次年度計画) が立てられているか	3	3…概ね達成されている 【60～79%】
(d) 適切な数値目標が提示されているか	2	2…達成半ばである 【40～59%】
		1…不十分である 【～39%】

総合評価	総合評価の判定理由	総合評価基準
D	<p>一概に相談件数が多いことが良いことではありませんが、相談件数が大幅に減っていること、また、相談窓口の周知方法が工夫されていないため、この評価にしました。</p>	<p>A…施策は非常に良好に進展している</p> <p>B…施策は良好に進展している</p> <p>C…現状維持</p> <p>D…施策がやや後退している</p> <p>E…施策が後退している</p>
改善策等の提言		
<p>青少年・子ども相談件数が減っていますが、この事業の継続は必要と考えます。子ども自身が相談しやすいと感じる相談窓口を周知し、充実させる工夫をしてください。</p> <p>また、相談機関連携会議を年に1回開催していると記載がありますが、より、関係機関の連携を強化するように努めてください。</p>		

Ⅱ 女性の人権の尊重と健康支援

(4) 相談体制の充実

① 相談窓口の充実

事業項目	19年度の実績と取組 (a)	20年度の実績と取組 (a)
子どもに関する相談の充実 (085)－⑤	メンタルフレンド、スクールカウンセラーを学校に配置し、その活用を図る等、相談体制の充実に努めた。	メンタルフレンドを全小学校、スクールカウンセラーを全中学校に配置した。小学校2校に新たにスクールカウンセラーを配置した。

府中市男女共同参画推進懇談会による第三者評価（項目評価及び総合評価）

項目評価基準	評価	項目評価基準
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	5…達成されている 【100%】 4…ほぼ達成されている 【80～99%】 3…概ね達成されている 【60～79%】 2…達成半ばである 【40～59%】 1…不十分である 【～39%】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	3	
(c) 課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか	3	
(d) 適切な数値目標が提示されているか	3	

担当課評価基準

- 5…予定より大きな成果が出ている
- 4…予定よりやや大きな成果が出ている
- 3…予定した成果が出ている【基準=100%の達成率】
- 2…予定した成果があまり出していない
- 1…予定した成果が出していない

担当課評価 (b)	評価の内容と今後の課題 (b)	21年度計画 (c)	数値目標 (d)	担当課
3	配置時間の拡大及び小学校のスクールカウンセラー配置校の増加が課題である。	メンタルフレンドを全校に配置しているのに加え、小学校3校へスクールカウンセラー（臨床心理士）を配置し、いじめや不登校等の防止、解決や校内の相談体制の更なる充実を図る。	メンタルフレンドの小学校配置（22校）。 スクールカウンセラーの中学校配置（11校）。	指導室

総合評価	総合評価の判定理由	総合評価基準
C	メンタルフレンドを市立小学校全校に、スクールカウンセラーを市立中学校全校に配置したことで、この評価にしました。	A…施策は非常に良好に進展している B…施策は良好に進展している C…現状維持 D…施策がやや後退している E…施策が後退している
改善策等の提言		
20年度の実績には、市立小学校2校にスクールカウンセラーを配置したとのことですが、今後の課題としているように、早急に小学校全校に配置することを要望します。メンタルフレンドを小学校全校、スクールカウンセラーを中学校全校に配置したとのことですが、それぞれの相談実施日や人数等を記載してください。また、継続的に十分な相談を行うため、この事業の充実を図ってください。		



### Ⅲ 男女共同参画社会づくり

#### (1) 男女平等の意識改革

##### ① 学校教育における男女平等の推進

事業項目	19年度の実績と取組 (a)	20年度の実績と取組 (a)
男女平等教育の推進 (088)	教科、道徳、特別活動及び総合的な学習の時間をはじめ、学校の教育活動全体を通して男女平等教育を意識した指導を推進するとともに、男女平等教育を含めた人権教育の研修を実施し、人権意識の高揚を図った。	各校の教員からなる人権教育推進委員会を設置し、男女平等教育を含めた人権教育の視点から各教科等の指導内容・指導方法の工夫・改善を行った。

#### 府中市男女共同参画推進懇談会による第三者評価（項目評価及び総合評価）

項目評価基準	評価	項目評価基準
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	5…達成されている 【100%】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	3	4…ほぼ達成されている 【80～99%】
(c) 課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか	3	3…概ね達成されている 【60～79%】
(d) 適切な数値目標が提示されているか	3	2…達成半ばである 【40～59%】
		1…不十分である 【～39%】

#### 担当課評価基準

- 5…予定より大きな成果が出ている  
 4…予定よりやや大きな成果が出ている  
 3…予定した成果が出ている【基準=100%の達成率】  
 2…予定した成果があまり出していない  
 1…予定した成果が出ていない

担当課評価 (b)	評価の内容と今後の課題 (b)	21年度計画 (c)	数値目標 (d)	担当課
3	小・中学校の教員が協力して活動するため、小・中学校の連携を意識した人権教育の実践を展開できた。	教科、道徳、特別活動及び総合的な学習の時間をはじめ、学校の教育活動全体を通じて男女平等を意識した指導を推進するとともに教員に対して男女平等を含む人権教育の研修を実施。	人権教育推進委員会の設置。	指導室

総合評価	総合評価の判定理由	総合評価基準
C	各校の教員からなる「人権尊重推進教育委員会」を設置したことは前進であり、その中核となる男女平等教育についての指導内容や指導方法の工夫・改善を期待して、この評価にしました。	A…施策は非常に良好に進展している B…施策は良好に進展している C…現状維持 D…施策がやや後退している E…施策が後退している
改善策等の提言		
国及び都の指導のもとに、市における男女平等教育の推進を強く希望します。各小・中学校の教員からなる「人権尊重推進教育委員会」については、委員教員の男女構成比、委員教員の研修及び研究内容についても記載してください。さらに、学年ごとの指導内容や方法についても記載してください。		

Ⅲ 男女共同参画社会づくり

(1) 男女平等の意識改革

② 地域・家庭における男女平等の推進

事業項目	19年度の取組と実績 (a)	20年度の取組と実績 (a)
学習・啓発講座の実施 (093)	従来の固定的な性別役割分業の見直しを図り、男女が互いを尊重する男女共同参画社会の実現に寄与し、その意識を啓発するための各種講座を開催した。 ・女性のための簡単大工講座 5回 60人 ・男性のための料理講座 1回 10人	従来の固定的な性別役割分業の見直しを図り、男女が互いを尊重する男女共同参画社会の実現に寄与し、その意識を啓発するための各種講座を開催した。 ・女性のための簡単大工講座 5回 72人 ・男性のための料理講座 1回 16人

府中市男女共同参画推進懇談会による第三者評価（項目評価及び総合評価）

項目評価基準	評価	項目評価基準	達成率
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	5…達成されている	【100%】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	4	4…ほぼ達成されている	【80～99%】
(c) 課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか	3	3…概ね達成されている	【60～79%】
(d) 適切な数値目標が提示されているか	3	2…達成半ばである	【40～59%】
		1…不十分である	【～39%】

担当課評価基準

- 5…予定より大きな成果が出ている  
4…予定よりやや大きな成果が出ている  
3…予定した成果が出ている【基準=100%の達成率】  
2…予定した成果があまり出ていない  
1…予定した成果が出ていない

担当課評価 (b)	評価の内容と今後の課題 (b)	21年度計画 (c)	数値目標 (d)	担当課
4	いずれの講座も定員以上の応募があり、性別役割分業の是正と市民のニーズが合致した講座を実施できたため、評価を4とした。	引き続き啓発講座を実施するとともに、男女が共に地域や家庭に参画できるよう、ワーク・ライフ・バランスの意識啓発にも努めたい。	女性のための大工講座…5回 男性のための料理講座…1回 ワーク・ライフ・バランス講座…1回以上	市民活動支援課

総合評価	総合評価の判定理由	総合評価基準
B	固定的な性別役割分業の是正と男女平等意識の啓発を目的とする講座が、男女市民のニーズに合致して参加者を増やして継続開催されていることで、この評価にしました。	A…施策は非常に良好に進展している B…施策は良好に進展している C…現状維持 D…施策がやや後退している E…施策が後退している
改善策等の提言		
前年度におけるこの事業は、講座への参加者の減少が危惧されていたのですが、20年度はいずれの講座も定員以上の応募があったということは、担当課として、講座の企画や広報活動も工夫された結果でもあると思います。今後も男女平等・共同参画に対する意識改革を啓発する学習講座の開催を継続することを期待します。		

Ⅲ 男女共同参画社会づくり

(1) 男女平等の意識改革

② 地域・家庭における男女平等の推進

事業項目	19年度の実績と取組 (a)	20年度の実績と取組 (a)
雇用主・労働者双方への働きかけ (095)	男女雇用平等推進のために、広く職場における男女平等について、国や都と連携して、雇用主・労働者双方への意識啓発をポスター、チラシ等により実施した。	男女雇用平等推進のために、広く職場における男女平等について、国や都と連携して、雇用主・労働者双方への意識啓発をポスター、チラシ、ガイドブック等により実施した。 また、東京都の労働行政機関等と連携し、男女雇用平等、非正規雇用関連の点検を中心に、「男女雇用機会均等法・パートタイム労働法・有期労働契約の締結、更新及び雇止めに関する基準など」の労働者・労働組合・事業主・人事労務担当・関心のある一般都民を対象にセミナーを府中グリーンプラザで実施し、申込者101人中、60人の参加があった。

担当課評価基準

- 5…予定より大きな成果が出ている  
4…予定よりやや大きな成果が出ている  
3…予定した成果が出ている【基準=100%の達成率】  
2…予定した成果があまり出していない  
1…予定した成果が出ていない

担当課評価 (b)	評価の内容と今後の課題 (b)	21年度計画 (c)	数値目標 (d)	担当課
3	労働者だけでなく、雇用主の意識啓発も重要であるため、今後も積極的に働きかけをしていきたい。 アンケートからセミナーの評価は、「大変参考になった」が34%で、「参考になった」が55%であった。合すると89%で、9割近い受講者から良い評価があった。一方、「少し参考にならなかった」が11%、「参考にならなかった」と回答した人はいなかった。 講師に関して、「わかりやすい」と好評であった。	男女雇用平等推進のため、広く職場における男女平等について、国や都と連携して、雇用主・労働者双方への意識啓発をポスター、チラシ、ガイドブック等により実施する。 また、東京都の労働行政機関等と連携し、労働者・一般都民向けセミナーの実施を行う。	労働者向けのセミナーを関係機関と連携し実施する。 参加者増に努める。	住宅勤労課

府中市男女共同参画推進懇談会による第三者評価（項目評価及び総合評価）

項目評価基準	評価	項目評価基準
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	5…達成されている 【100%】 4…ほぼ達成されている 【80～99%】 3…概ね達成されている 【60～79%】 2…達成半ばである 【40～59%】 1…不十分である 【～39%】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	3	
(c) 課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか	3	
(d) 適切な数値目標が提示されているか	3	

総合評価	総合評価の判定理由	総合評価基準
C	20年度の事業については、前年度の実績に加えて、東京都の労働行政機関等と連携してセミナーを実施して参加者のアンケート調査でも好評だったということで、この評価にしました。	A…施策は非常に良好に進展している B…施策は良好に進展している C…現状維持 D…施策がやや後退している E…施策が後退している
改善策等の提言		
男女共同参画社会の実現には、職場における男女雇用平等及び男女共同参画を推進することが必要です。男女平等の重要性を雇用主・労働者双方に働きかけていますが、市内の企業・事業所、労働組合、商工会議所等に理解と協力を得るよう、イベント等具体的な施策を検討してください。その際、前年度に提言した、男女雇用平等推進のために必要な、ワーク・ライフ・バランスをテーマとする啓発・PR・研修等を行うことを提案します。今後とも、国、都、近隣市等と連携して、セミナー等により継続して男女雇用平等・男女共同参画の啓発を推進することを期待します。		

Ⅲ 男女共同参画社会づくり

(2) 普及・啓発活動の推進

① 広報・啓発活動の充実

事業項目	19年度の実績と取組 (a)	20年度の実績と取組 (a)
広報紙・啓発冊子等での啓発の充実 (099)	男女平等に関する事業について「広報ふちゅう」に掲載し、市民への啓発の充実を図った。	19年度同様、男女平等に関する事業について「広報ふちゅう」に掲載し、市民への啓発の充実を図った。

府中市男女共同参画推進懇談会による第三者評価（項目評価及び総合評価）【中里委員・明石委員】

項目評価基準	評価
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	3
(c) 課題に即した改善策（次年度計画）が立てられているか	3
(d) 適切な数値目標が提示されているか	3

項目評価基準  
 5…達成されている 【100%】  
 4…ほぼ達成されている 【80～99%】  
 3…概ね達成されている 【60～79%】  
 2…達成半ばである 【40～59%】  
 1…不十分である 【～39%】

担当課評価基準

5…予定より大きな成果が出ている  
 4…予定よりやや大きな成果が出ている  
 3…予定した成果が出ている【基準=100%の達成率】  
 2…予定した成果があまり出していない  
 1…予定した成果が出ていない

担当課評価 (b)	評価の内容と今後の課題 (b)	21年度計画 (c)	数値目標 (d)	担当課
3	男女共同参画社会の実現に向けた市政の取り組み等について、広報紙で取り上げ、市民への情報提供を行っていることから、一定の成果は得られている。今後は市民が取り組むべき、より具体的な行動等について啓発が必要である。	広く市民へ啓発するため、これまでの広報紙による啓発に加え、テレビ広報等を活用した啓発活動を実施する。	男女共同参画社会の実現に向け、市民が取り組む具体的な行動等について啓発する。	広報課 市民活動支援課

総合評価	総合評価の判定理由
C	20年度の実績と取組について、前年度と同様に男女平等に関する事業を「広報ふちゅう」に掲載して市民への啓発を図ったとありますが、前年度の提言がいかされていませんので、この評価にしました。
改善策等の提言	
<p>男女共同参画社会の実現のためには、男女共同参画に関する取組を広く市民に情報提供することは必須の事業です。市が発行する「広報ふちゅう」は、多くの市民に配布されており、男女共同参画週間には男女共同参画に関する啓発情報記事が組まれていることで市民への啓発が推進されていると思います。</p> <p>前年度の提言で、この事業の取組の中に、府中市女性センターの情報紙「スクエア21」による情報提供についても記載するよう提案していますので、検討してください。この「スクエア21」の情報を市民に周知してもらうために、自治会の回覧板を活用することを提案します。</p> <p>また、21年度計画の中で、テレビ広報等を活用した啓発活動を実施するとのことで、さらなる広報・啓発の充実を期待します。</p>	

総合評価基準  
 A…施策は非常に良好に進展している  
 B…施策は良好に進展している  
 C…現状維持  
 D…施策がやや後退している  
 E…施策が後退している

【別表】

- I あらゆる分野における男女共同参画  
 (1) 社会・地域における男女共同参画  
 ① 政策・方針決定過程への女性の参画の拡大

平成21年3月31日現在

	審議会、協議会等の名称	種別	委員数	男性委員		女性委員	
				人数	割合(%)	人数	割合(%)
1	府中市オンブズパーソン	附属機関	2	1	50.0	1	50.0
2	府中市情報公開審査会	附属機関	5	3	60.0	2	40.0
3	府中市個人情報保護審査会	附属機関	5	3	60.0	2	40.0
4	府中市情報公開・個人情報保護審議会	附属機関	10	8	80.0	2	20.0
5	府中市国民健康保険運営協議会	附属機関	17	14	82.4	3	17.6
6	府中市男女共同参画推進懇談会	類似機関	12	5	41.7	7	58.3
7	府中市NPO・ボランティアとの協働推進懇談会	類似機関	8	6	75.0	2	25.0
8	国史跡武蔵府中熊野神社古墳保存活用検討委員会	類似機関	9	9	100.0	0	0.0
9	市史跡武蔵国衙跡調査・保存活用検討委員会	類似機関	7	7	100.0	0	0.0
10	府中市文化財保護審議会	附属機関	9	8	88.9	1	11.1
11	府中市生涯学習審議会	附属機関	13	6	46.2	7	53.8
12	府中市美術品収集選定委員会	附属機関	6	5	83.3	1	16.7
13	府中市美術館運営協議会	附属機関	12	8	66.7	4	33.3
14	府中市民生委員推薦会	附属機関	14	10	71.4	4	28.6
15	府中市福祉のまちづくり推進審議会	附属機関	15	9	60.0	6	40.0
16	府中市福祉計画検討協議会	類似機関	20	15	75.0	5	25.0
17	府中市介護認定審査会	附属機関	48	30	62.5	18	37.5
18	府中市地域包括支援センター運営協議会	類似機関	16	9	56.3	7	43.8
19	府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進協議会	類似機関	14	8	57.1	6	42.9
20	府中市障害認定審査会	附属機関	25	18	72.0	7	28.0
21	府中市障害者計画推進協議会	類似機関	16	10	62.5	6	37.5
22	府中市障害者等地域自立支援協議会	類似機関	10	7	70.0	3	30.0
23	府中市保健センター運営協議会	類似機関	9	9	100.0	0	0.0
24	府中市母子保健連絡協議会	類似機関	13	9	69.2	4	30.8
25	府中市歯科医療連携推進事業運営協議会	類似機関	10	8	80.0	2	20.0
26	府中市歯周疾患改善指導連携会議	類似機関	8	7	87.5	1	12.5
27	府中市子ども家庭支援センター運営協議会	類似機関	15	6	40.0	9	60.0
28	府中市次世代育成支援行動計画推進協議会	類似機関	16	8	50.0	8	50.0
29	府中市要保護児童対策地域協議会	類似機関	26	19	73.1	7	26.9
30	府中市青少年問題協議会	附属機関	30	24	80.0	6	20.0
31	府中市放課後子どもプラン検討協議会	類似機関	14	11	78.6	3	21.4
32	府中市防災会議	附属機関	26	26	100.0	0	0.0
33	府中市国民保護協議会	附属機関	29	27	93.1	2	6.9
34	府中市環境審議会	附属機関	15	10	66.7	5	33.3
35	府中市交通安全対策審議会	附属機関	23	20	87.0	3	13.0
36	府中市緑の活動推進委員会	類似機関	26	17	65.4	9	34.6
37	府中市緑の基本計画検討協議会	類似機関	15	13	86.7	2	13.3
38	府中市廃棄物減量等推進審議会	附属機関	14	10	71.4	4	28.6
39	府中市都市計画審議会	附属機関	17	16	94.1	1	5.9
40	府中市土地利用調整審査会	附属機関	5	4	80.0	1	20.0
41	府中市景観審議会	附属機関	10	7	70.0	3	30.0
42	府中市景観賞審議会	類似機関	8	8	100.0	0	0.0
43	府中市建築紛争調停委員会	附属機関	3	2	66.7	1	33.3
44	府中市建築審査会	附属機関	5	4	80.0	1	20.0
45	府中市西府地区まちづくり交付金事業事後評価会議委員	類似機関	6	5	83.3	1	16.7
46	府中市立学校給食センター運営審議会	附属機関	17	11	64.7	6	35.3
47	府中市学校保健会	類似機関	20	14	70.0	6	30.0
48	府中市特別支援教育就学指導協議会	類似機関	42	22	52.4	20	47.6
計			715	516	72.2	199	27.8